DAIWA

取扱説明書

DVR-NS104HES
DVR-NS108HES
DVR-NS116HES

デジタル・ビデオ・レコーダー

(N-HES_Ver. 1.0_1402)

H.264 Video Compression Digital Video Recorder

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
お読みになった後は、いつでも取り出せるところに大切に保管してください。

【はじめに】

DVR-NS104HES/108HES/116HESをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本書および本書に記載されているソフトウェア、ハードウェアは著作権法により保護されます。
したがって、著作権法内で一般的な使用のためのコピーを除いて、株式会社ダイワインダストリの許可なしの本書の一部または全部のコピー、再印刷、他国語への翻訳などはできません。
仕様および外観は、性能改善等により予告なく変更することがあります。

【商品の保証について】

この商品の保証期間はお買い上げ日から2年間です。但し、下記の場合は保証期間内であっても保証対象外になります。

- お客様の取扱上の不備により生じた不具合の場合
- お客様から商品に加工・交換などが行われた場合
- 定格電源以外の電源をお使いの場合
- 火災・地震・洪水・落雷などの天災により生じた不具合の場合
- 消耗品(ハードディスクなど)の交換の場合

※ DVRのHDD寿命は、概ね20,000時間です。ただし、目安であり保証ではありません。

【安全のため必ずお守りください】

⚠ 警 告

- 煙が出ている、変な音やにおいがするなどの異常状態のまま使用しない
- 電源コードを傷つけない
- 電源プラグやコンセントにほこりなどを付着させない
- 分解したり、改造しない
- 内部に異物を入れない
- 接続する機器の上に、水などの入った容器を置かない
- ぬらさない
- 雷が鳴り出したら使わない
- 不安定な場所に設置しない
- 衝撃や振動を与えない
- 爆発の危険があるところでは使わない

⚠ 注 意

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っぱらない
- ぬれた手で電源プラグをさわらない
- 上に乗らない
- コード類は正しく配線する
- 接続する機器の上に重いものを置かない
- 電源プラグをコンセントに接続したまま移動させない
- 電源プラグをコンセントに接続したままお手入れしない
- 通風孔や放熱ファンをふさがない
- 急激な温度・湿度変化の場所に置かない

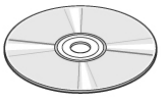
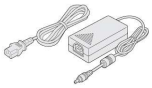
※ ご 注 意 ※

【ネットワーク設定に関するお問い合わせについて】

お問い合わせ頂いた内容によっては、弊社技術者が、直接設置場所に伺い対応致します。
その場合には、別途費用が発生致します。詳細についてはお問い合わせ下さい。

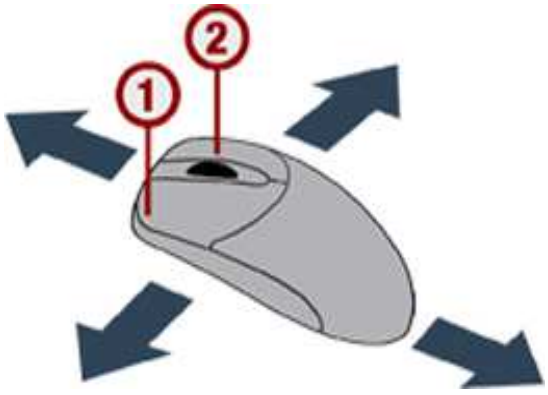
■ 製品および付属品の構成

次の部品が入っているかをご確認ください。

DVR本体	
クライアントCD	
リモコン	
マウス	
リモコン用の電池1.5V (AAA x 2個)	
取扱説明書(本書)	
アダプタ・電源ケーブル(110V) (DC12V 3A)	

■ マウスの基本操作

① をクリック : 項目を選択(SELECT)
② をクリック : 前画面に戻る(ESC)
① をダブルクリック : サブメニューに入る



■ 仕 様

項目			仕様		
			4ch	8ch	16ch
映像	入力	ch入力レベル	4/8/16ch コンポジット、1.0Vp-p、75オーム		
	出力		1HDMI+1VGA+1CVBS（VGA：1024x768設定時）		
			1HDMI+1VGA+1スポット（VGA：1280x1024設定時）		
音声	入出力		4ライン入力・1ライン出力		
	圧縮方式		G.711		
インタフェース	メニュー表示		グラフィックユーザーインタフェース(GUI)		
	入力方法		マウス/リモコン/前面パネルのボタン		
ライブ画面表示	Video Lossチェック		対応		
	画面自動切換え		3 ~ 60秒		
録画	圧縮方式		H.264		
	解像度	CIF	120fps	240fps	480fps
		D1	120fps		110fps
		960H	120fps		110fps
	録画画質グレード		5段階で選択可能		
	録画モード		常時/モーション/センサー/スケジュール/手動		
	モーション検知		全画面/選択領域		
	イベント前録画		15秒~20分		
	イベント後録画		10 ~ 30秒/1分		
再生	速度	1画面	~64倍速		
		マルチ画面	~32倍速	~16倍速	~8倍速
	記録映像検索モード		タイムライン/イベント/キャプチャーリスト/ログ/日時指定		
バックアップ	ファイル形式		JPEG/AVI/独自動画フォーマット		
	保存メディア		USBメモリー/ネットワーク		
保存装置	ハードディスク	インタフェース	SATA		
		最大容量(/1個)	2TB		
		最大搭載可能数	2個		
	S.M.A.R.T.		HDDエラーのチェックおよび報告		
アラーム	センサー入力		4入力（NC/NO選択可能）		
	アラーム出力		1出力（センサー、モーション、Video Loss時）		
シリアルポート	RS-485		対応		
ネットワーク	デュアルストリーム		CIF 60fps	CIF 120fps	CIF 240fps
遠隔接続	PCクライアント		ライブ監視/データ検索・再生/バックアップ /PTZカメラコントロール		
	Webビューア		ライブ監視/データ検索・再生/バックアップ /PTZカメラコントロール		
	3Gモバイル監視		iPhone、Android対応		
その他	サマータイム		対応		
	ブザー音		Video Loss/HDDエラー		
	多言語		対応		
	ソフトウェアアップグレード方法		USBメモリー/ネットワーク経由の遠隔アップグレード		
	NTP（ネットワークタイムプロトコル）		対応		
	遠隔設定		対応		
一般仕様	動作温度		5～40℃		
	電源入力		DC 12V 3A		
	ユニット質量(梱包時の質量)		1.5Kgs(3.0Kgs)		
	寸法(WxDxH)		340mm x 262mm x 63mm		

※ 仕様および外観は、性能改善などにより予告なく変更することがあります。

安全のため必ずお守りください

警告

- 煙が出ている、変な音やにおいがするなどの異常状態のまま使用しない
- 電源コードを傷つけない
- 電源プラグやコンセントにほこりなどを付着させない
- 分解したり、改造しない
- 内部に異物を入れない
- 接続する機器の上に、水などの入った容器を置かない
- ぬらさない
- 雷が鳴り出したら使わない
- 不安定な場所に設置しない
- 衝撃や振動を与えない
- 爆発の危険があるところでは使わない

注意

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っぱらない
- ぬれた手で電源プラグをさわらない
- 上に乗らない
- コード類は正しく配線する
- 接続する機器の上に重いものを置かない
- 電源プラグをコンセントに接続したまま移動させない
- 電源プラグをコンセントに接続したままお手入れしない
- 通風孔や放熱ファンをふさがない
- 急激な温度・湿度変化の場所に置かない

目次

■ 製品および付属品の構成 3
■ マウスの基本操作 3
■ 仕 様 4
1. 主な特長 9
2. 各部の機能と接続 10
2.1 前面パネル 10
2.2 背面パネル 11
2.3 リモコン 12
2.4 ネットワーク接続 13
2.5 センサーおよびアラームの接続 14
3. 設定のしかた 14
3.1 設定メニューの基本操作 14
3.1.1 使用者モードに入る前に 14
3.1.2 設定画面に入るには 14
3.1.3 設定メニューを操作するには 15
3.1.4 設定を保存するには 15
3.1.5 設定メニューの構成 16
3.2 画面表示 17
3.2.1 映像出力設定 18
3.3 録画設定 18
3.3.1 録画モードの種類 20
3.3.2 スケジュール設定 20
3.4 デバイス設定 22
3.4.1 アラーム出力設定 23
3.4.2 コントローラー&PTZ設定 23
3.4.3 モーション検出領域設定 24
3.4.4 マスキング 24
3.4.5 リモコンIDの操作 24
3.5 録画装置設定 25
3.6 システム設定 26
3.6.1 時刻不一致が発生した場合は 27
3.6.2 NTP設定 27
3.6.3 メール送信設定 28
3.6.4 システムイベント通知設定 29
3.7 セキュリティー設定 30
3.7.1 使用者権限設定 31
3.7.2 使用者名変更 31
3.7.3 使用者パスワード設定 32

3.7.4 データ検索権限設定 32
3.7.5 遠隔監視権限設定 32
3.8 ネットワーク設定 33
3.8.1 DDNSサーバーの設定 34
3.8.1.1 bestddns.comを利用する場合（通常はこのサーバを使用してください。） 34
3.8.1.2 その他のDDNSサーバーを利用する場合 34
3.8.1.3 okddns.comを利用する場合 35
3.9 設定管理 35
3.10 簡単設定 36
4. ライブ監視 37
4.1 ライブ画面の説明 37
4.1.1 ポップアップメニュー 39
5. 検索と再生 40
5.1 検索メニューの基本操作 40
5.1.1 検索画面に入るには 40
5.1.2 再生時の操作 40
5.2 クイックサーチ 41
5.3 タイムライン検索 42
5.3.1 タイムラインからデータを検索するには 43
5.4 イベント検索 44
5.4.1 イベント検索画面からデータを検索するには 44
5.5 先頭映像検索 45
5.6 最終映像検索 45
5.7 日時指定検索 45
5.8 キャプチャーリストの検索 45
5.8.1 キャプチャー画像を確認・バックアップするには 45
5.9 ログの検索 46
6. PTZカメラの操作 46
6.1 PTZカメラの基本操作 46
6.1.1 PTZカメラの接続と設定 46
6.1.2 PTZ操作画面に入るには 47
6.2 PTZ操作画面 47
7. バックアップ 48
7.1 ライブ映像のバックアップ 48
7.1.1 ライブ映像を静止画でバックアップするには 48
7.2 再生映像のバックアップ 49
7.2.1 再生映像を静止画でバックアップするには 49
7.2.2 再生映像を動画でバックアップするには 49
7.3 キャプチャーリストからのバックアップ 51
7.4 動画バックアップファイルの再生 51

7.4.1 動画ファイルやフォルダーの生成 52
7.4.2 HD Playerの構成 53
7.4.3 動画バックアップファイルの再生 54
7.4.3.1 HD Playerで再生画面のキャプチャー 54
7.4.3.2 HD Playerで再生画面のデジタルズーム 54
8. 遠隔で操作するには 55
8.1 UMSクライアントソフトの動作環境 55
8.2 UMSクライアントソフトのインストール 55
8.3 UMSクライアントの使用 56
8.3.1 ライブモードの構成と各部のはたらき 56
8.3.1.1 UMSクライアントのデジタルズーム機能 58
8.3.1.2 双方向オーディオ 58
8.3.2 検索モードの構成と各部のはたらき 59
8.3.2.1 動画のバックアップ 60
8.3.3 設定のしかた 62
8.3.4 ポップアップメニュー 64
8.4 UMSマルチクライアントの使用 65
8.4.1 接続のしかた 65
8.4.1.1 接続先の登録 65
8.4.2 ライブモードの構成と各部のはたらき 66
8.4.3 検索モードの構成と各部のはたらき 68
8.4.3.1 再生のしかた 69
8.4.3.2 動画のバックアップ 70
8.4.4 セットアップのしかた 71
8.4.5 ポップアップメニュー 75
8.5 Webクライアントの使用 77
8.5.1 IEからの接続 77
8.5.2 ライブモードの構成と各部のはたらき 78
8.5.3 検索モードの構成と各部のはたらき 79
8.6 モバイルでのライブ画面監視 80
8.6.1 iPhoneからの接続 81
8.6.2 Androidからの接続 81
9. 録画時間目安表 82
10. バックアップ時間目安表 83
11. 外形図 83
12. 保証書 84

1. 主な特長

【H264動画圧縮】

◆ MPEG-4動画圧縮と比較して解像度と画質によっては、録画できる時間が長くなりました。
又、動画がより滑らかでクリアです。

【同時操作対応】

◆ 録画,再生,ネットワークアクセス及び保存が同時に操作可能です。

【USBフラッシュデバイス対応】

◆ 録画データの保存やファームウェアのアップグレードが簡単に短時間で行えます。

【シンプルな操作画面】

◆ GUI(グラフィカルユーザーインターフェース)によりフロントパネルの操作ボタン
だけでなく、画面上のクリックのみでリモコンやマウスで操作することが可能です。

【CH個別設定対応】

◆ CH毎に設定や操作が可能です。

【モーション検知録画対応】

◆ モーション検知機能を搭載しておりますので録画時間を節約することができます。
又、モーション検知領域を設定することもできます。

【AVI形式及び専用バックアップファイル形式による録画保存】

◆ AVI形式で保存した録画データはWindows Media Player等で再生できます。
一方、専用バックアップファイル形式で保存した録画データは、本装置からダウンロード
される専用プレーヤーでなければ再生できないため、セキュリティを高める事ができます。

【クライアントソフト、Webビューアなどを利用したネットワーク接続】

◆ 遠隔監視を簡単な操作でサポートするソフトが充実しています。

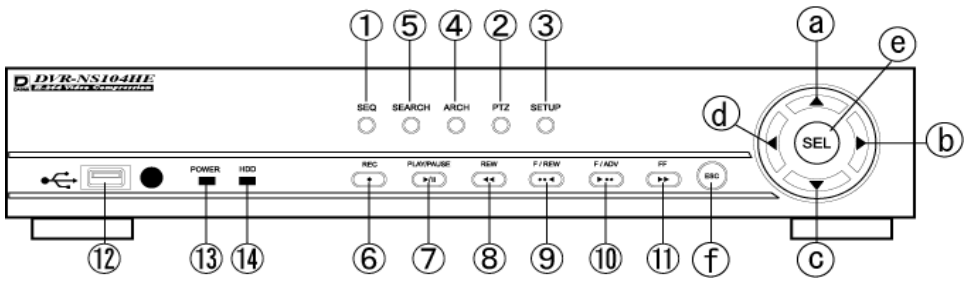
【無料Dynamic DNS】

◆ 固定IPアドレスを用意できない環境においても、本無料Dynamic DNSに登録すれば、
インターネット経由で遠隔監視を行うことができます。

※ 無料Dynamic DNSは予告無くサービスを停止、終了する場合があります。
信頼性の高い運用が要求される環境では、固定グローバルIPアドレスの取得を推奨します。

2. 各部の機能と接続

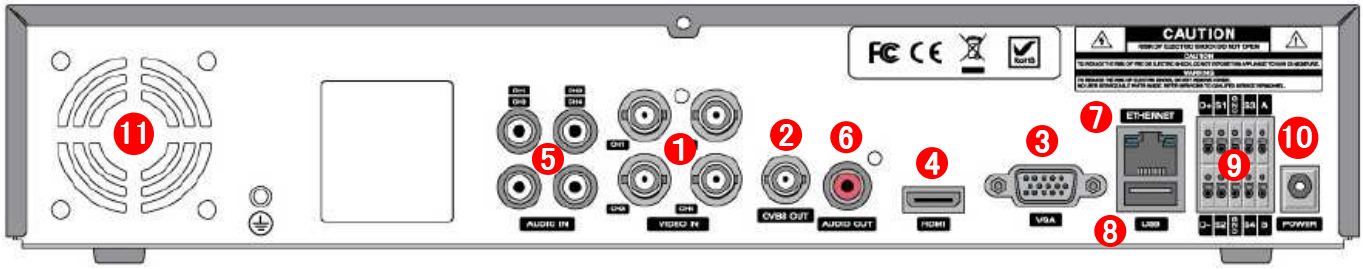
2.1 前面パネル



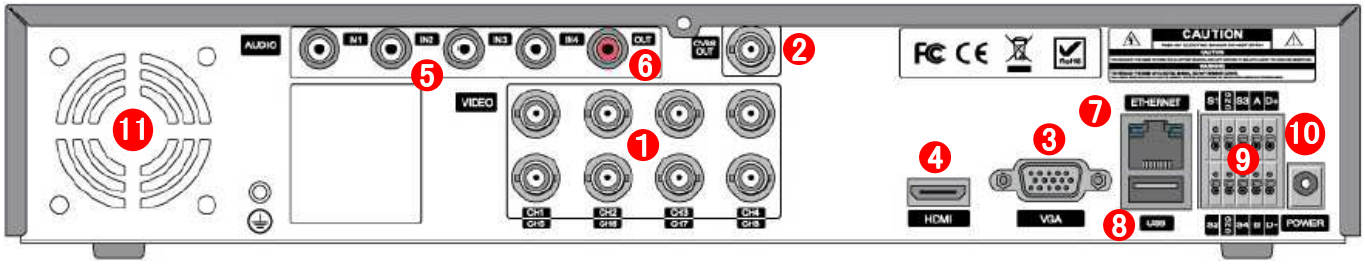
NO	名前	説明
1	**SEQ**	画面自動切換を入/切にします。
2	**PTZ**	PTZメニューに入ります。
3	**SETUP**	設定メニューに入ります。
4	**ARCH**	ライブ映像や再生映像を静止画で保存します。
5	**SEARCH**	検索メニューに入ります。
6	**REC**	手動録画を開始/中止します。
7	**PLAY/PAUSE**	再生時、映像を静止/再生します。
8	**REW**	再生時、早戻しします。
9	**F/REW**	再生時、1分前の映像にジャンプします。 映像が停止状態で押した場合は、1フレームずつ前へ移動します。
10	**F/ADV**	再生時、早送りします。 映像が停止状態で押した場合は、1フレームずつ先へ移動します。
11	**FF**	再生時、早送りします。
12	**USBポート**	USBメモリーを接続します。
13	**電源ランプ**	電源が入っている間に点灯されています。
14	**HDDランプ**	録画や再生動作を行っている間に点灯されています。
a	▲	カーソルを上に動かします。
b	◄	カーソルを左に動かしたり、設定値を変更します。
c	▼	カーソルを下に動かします。
d	►	カーソルを右に動かしたり、設定値を変更します。
e		選択した項目を確定します。
f	ESC	前画面に戻ります。

2.2 背面パネル

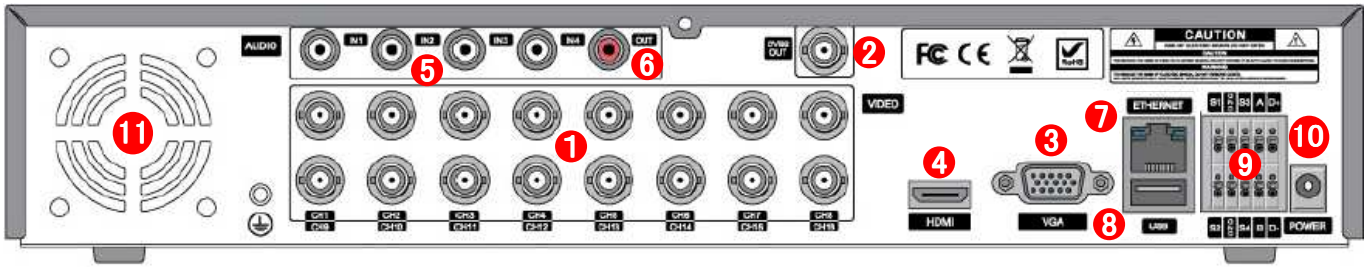
DVR-NS104HES



DVR-NS108HES



DVR-NS116HES

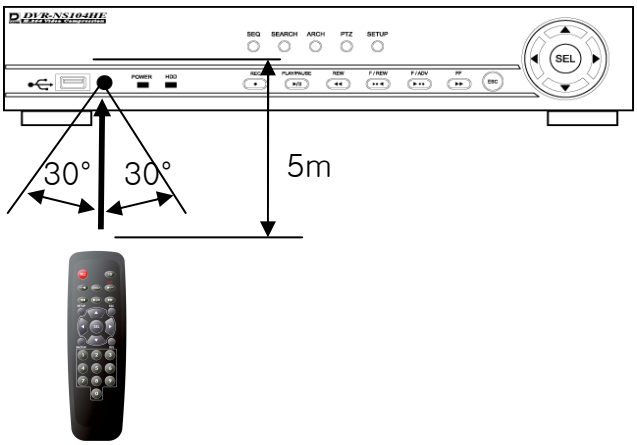


NO	名前	説明
1	VIDEO IN	映像入力端子です。
2	CVBS OUT	メイン画面またはスポット画面の出力端子です。
3	VGA	メイン画面出力端子です。
4	HDMI	メイン画面出力端子です。
5	AUDIO IN	音声入力端子です。
6	AUDIO OUT	音声出力端子です。
7	ETHERNET	ネットワークRJ-45ジャックの端子です。
8	USB	USB端子です。
9	S1～S4	センサー入力端子です。
	D+、D-	RS-485端子です。
	A、B	外部アラーム出力端子です。
10	POWER	DC12V入力端子です。
11	ファン	放熱用のファンです。

2.3 リモコン

NO	ボタン	説明
1	ID	リモコンIDが設定されているDVRを操作する時、リモコンのIDを入力します。(IDボタン+数字ボタン)
2	REC	手動録画を開始/中止します。
3	数字	1画面に表示するCHを選択します。
4	---◂	再生画面で、1分前のデータにジャンプして再生します。再生が一時停止の状態では、1秒前の画像を表示します。
5	▸---	再生画面で、1分先のデータにジャンプして再生します。再生が一時停止の状態では、1秒先の画像を表示します。
6	◂◂	再生画面で、データを巻き戻しします。押すごとに再生速度が切換ります。
7	▸/II	再生画面で、データを再生/一時停止します。
8	▸▸	再生画面で、データを早送りします。押すごとに再生速度が切換ります。
9	方向ボタン	メニューで、カーソルを移動します。SELボタンで下位メニューを表示します。
10	SETUP	設定メニューを表示します。
11	SEARCH	検索メニューを表示します。
12	ESC	前画面に戻ります。
13	BACKUP	ライブや再生画面をバックアップします。
14	SEQ	画面自動切換えを行います。

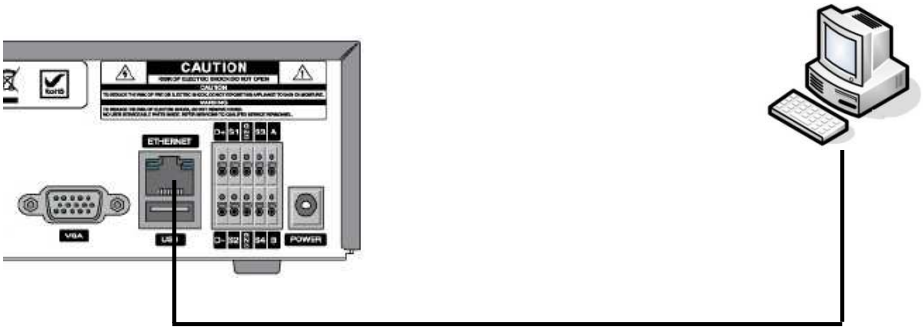
※ リモコンの操作範囲



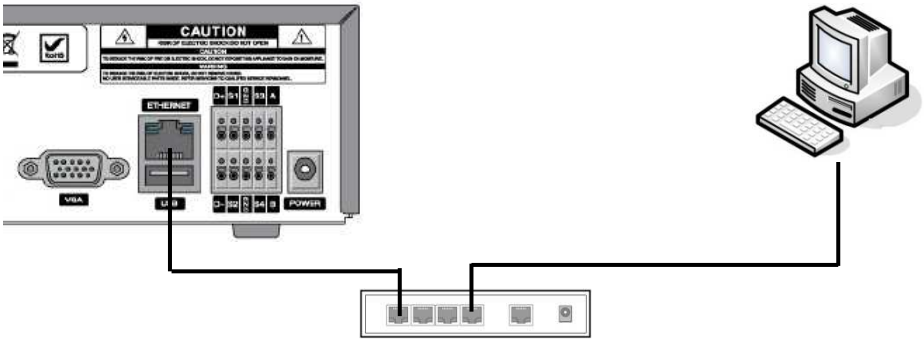
2.4 ネットワーク接続

LAN接続

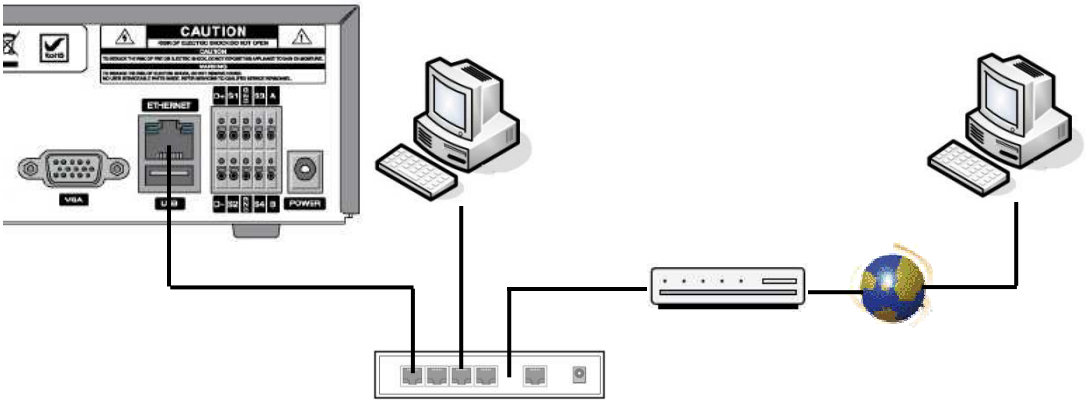
LANケーブルでDVRとパソコンを直接接続します。



LAN接続 – スイッチングハブを使用



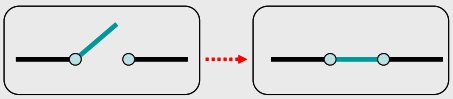
インターネット接続 –ルータを使用



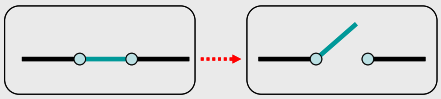
2.5 センサーおよびアラームの接続

---：反応しません。

N/O ：Normally open type sensor. 通常はオープン状態で、クローズしたら反応します。



N/C ：Normally closed type sensor. 通常はクローズ状態で、オープンしたら反応します。



アラーム出力の絶対最大定格は、AC 0.5A 12.5V、DC 1A 30Vです。

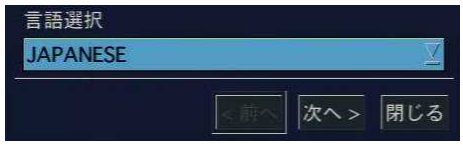
3. 設定のしかた

3.1 設定メニューの基本操作

3.1.1 使用者モードに入る前に

① DVRの後面の映像入力端子にカメラを接続し、電源入力端子に電源コードを接続します。

② 通電すると、前面パネルのPOWERランプが点灯し、システムの初期化が開始されます。初期化が完了してDVRが起動すると、最初に言語選択の画面が表示されます。「JAPANESE」を選択し、「次へ>」をクリックします。



③ 現在時刻を確認します。現在時刻を変更したい場合は、「時刻設定」のチェックボックスにチェックを入れてください。現在時刻が年/月/日/時/分/秒で設定できるようになります。時刻の設定が完了すると、「完了」をクリックします。

④ 接続されているカメラのライブ映像が分割画面で表示され、使用者が操作できる状態になります。

3.1.2 設定画面に入るには

① 設定画面に入るには、以下のような方法があります。

- 前面パネルかリモコンの「SETUP」ボタンを押します。
- メイン画面の下部のタスクバーから のアイコンをクリックします。
- メイン画面からマウスの右ボタンをクリックし、表示されるポップアップメニューから「設定」をクリックします。

② ログイン画面が表示されると、ユーザータイプを選択します。設定メニューに入る時にログインが必要かいなかについては、設定メニューの「セキュリティー」メニューで変更できます。

③ ボタンをクリックすると文字表が表示されます。選択したユーザータイプに合うパスワードを入力してください。各ユーザーのパスワードは、設定メニューの「セキュリティー」メニューで設定できます。パスワードを入力し、「ENTER」をクリックすると、設定画面が表示されます。

※ 工場出荷時のパスワードの初期値は「1111」です。購入後、パスワードを変更することをお勧めします。

3.1.3 設定メニューを操作するには

- マウスの操作 ：

左ボタンをクリックする	カーソルが位置している項目を選択します。
右ボタンをクリックする	(一部のメニューで)前画面に戻ります。 ライブモードではポップアップメニューを表示します。

- 前面パネルのボタン・リモコンの操作 ：

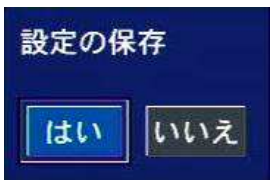
▼ボタンを押す	1つ次の設定項目に移動します。
▲ボタンを押す	1つ前の設定項目に移動します。
◂▸ボタンを押す	設定項目の設定値や選択肢を変更します。
「SEL」ボタンを押す	ボタンを選択します。
「ESC」ボタンを押す	前画面に戻ります。

- 項目の設定 ：

	「SEL」ボタンやマウスクリックで選択すると、ドロップダウンで選択肢が表示されます。
	コントロールボタン(◂▸)やマウスのドラック&ドロップで、設定値が変更できます。
	選択すると、文字入力表やサブメニューの画面が表示されます。

3.1.4 設定を保存するには

① 設定が完了し、設定メニュー画面を閉じるために「OK」ボタンを押すと、右のような設定保存の画面が表示されます。



② 「はい」を選択すると変更した設定内容が保存されます。

③ 「いいえ」を選択すると変更した設定内容が無効化されます。

※ 設定完了後、設定メニュー画面の右下の「Cancel」ボタンを押すと、変更した設定内容が無効化されます。

3.1.5　設定メニューの構成

3.2 画面表示

ライブ画面の表示に関する設定を行います。

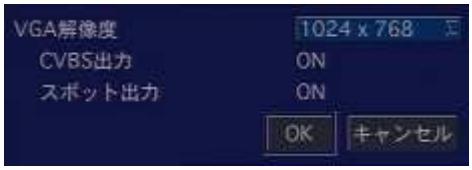
画面表示メニューの項目

項目	説明
OSD表示	Ch名、VIDEO LOSS及びタスクバーの画面表示を設定します。(選択肢:ON/OFF) OFFを選択すると、チャンネル名や録画マークなどの画面情報が表示されません。
OSD表示コントラスト	画面に表示されるウィンドウや文字のコントラストを調整します。 (設定範囲:50～100%)
画面自動切換	画面自動切換えを設定します。(選択肢:ON/OFF)
画面自動切換周期	画面自動切換えの周期を設定します。(設定範囲:3～60秒)
チャンネル	表示設定を変更したいチャンネルを選択します。(選択肢:CH1～チャンネル数) ボタンを押すと、全CH設定画面が表示され、すべてのチャンネルと設定項目を一目で見ることができます。 コントロールボタン(▲▼◀▶)で変更したい項目に移動し、「SEL」ボタンを押すか、マウスでダブルクリックすると、項目の設定ができます。コントロールボタン(◀▶)で設定値を変更し、「SEL」ボタンか「ESC」ボタンを押すと設定値が保存されます。 「ALL」の設定値を変更すると、全チャンネルの設定値が一度に変更できます。
ネーム	チャンネル名を設定します。 ボタンを押すと、文字入力表が表示され、変更したいチャンネル名を入力できます。
映像非表示	ライブ映像を非表示とします。(選択肢:ON/OFF)
輝度	映像の明るさを調節します。(設定範囲:0～100)

コントラスト	画像の暗い部分と明るい部分を最適調節します。(設定範囲:0～100)
色合い	画像の色合いを調節します。(設定範囲:0～100)
彩度	画像の彩度を調節します。(設定範囲:0～100)
映像出力(VGA)	ボタンを押すと映像出力設定画面が表示されるので、VGA端子から出力されるメイン画面の解像度を設定します。(選択肢:1024x768/1280x1024) ※ 解像度を1280x1024に設定した場合、CVBS出力はスポットアウトとなり、CVBS出力に接続したモニタからは、本機の設定ができなくなります。

3.2.1 映像出力設定

製品背面のVGA端子とCVBS端子の出力仕様が設定できます。



映像出力メニューの項目

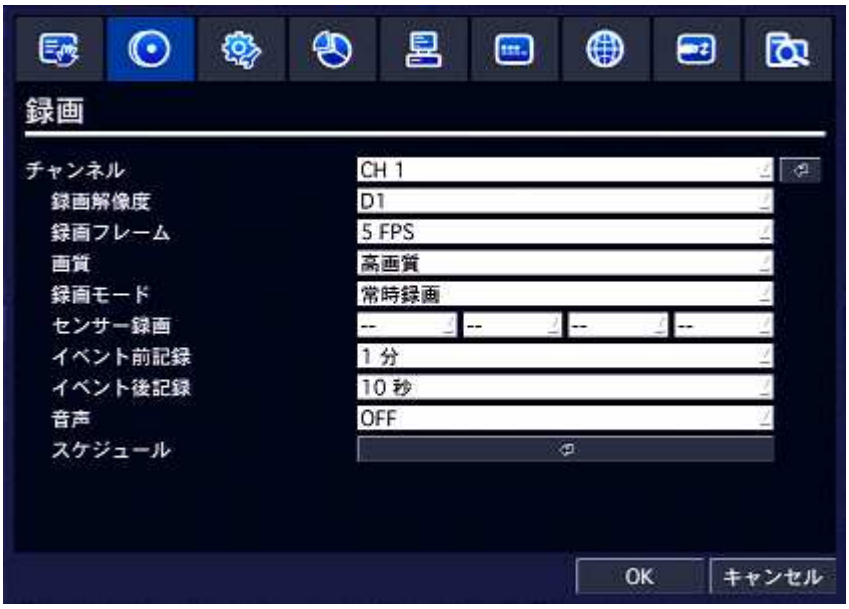
項目	説明
VGA解像度	VGA端子から出力されるメイン画面の解像度を設定します。(選択肢:1024x768/1280x1024)

CVBS端子の出力は、1024x768選択時はメイン画面、1280x1024選択時はスポット画面となります。

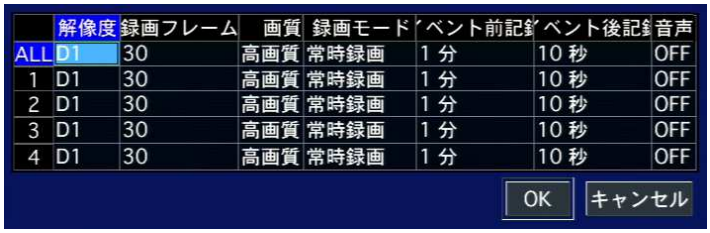
※ 解像度を1280x1024に設定した場合、CVBS出力はスポットアウトとなり、CVBS出力に接続したモニタからは、本機の設定ができなくなります。

3.3 録画設定

録画に関する設定を行います。



録画設定メニューの項目

項目	説明
チャンネル	下位項目(解像度、録画フレーム、画質、録画モード、センサー録画、イベント前記録、イベント後記録、音声、スケジュール)を設定するチャンネルを指定します。 ボタンを押すと、「全CH設定-録画」画面が表示され、すべてのチャンネルと設定項目を一目で見ることができます。  コントロールボタン(▲▼◀▶)で変更したい項目に移動し、「SEL」ボタンを押すか、マウスでダブルクリックすると、項目の設定ができます。コントロールボタン(◀▶)で設定値を変更し、「SEL」ボタンか「ESC」ボタンを押すと設定値が保存されます。 「ALL」の設定値を変更すると、全チャンネルの設定値が一度に変更できます。
解像度	録画の解像度を設定します。(選択肢:960H/D1/CIF)
録画フレーム	録画のフレームレートを設定します。(設定範囲:1～30FPS) 設定可能な各chの録画レートの合計値は、解像度の設定によって次のように制限されます。 **各chの総fps** **モデル名** / **960H** / **D1** / **CIF** **DVR-NS104HES** / 120fps / 120fps / 120fps **DVR-NS108HES** / 120fps / 120fps / 240fps **DVR-NS116HES** / 110fps / 110fps / 480fps 合計値が制限を越えた場合は、他のチャンネルの記録レートは設定できません。
画質	録画画質を選択します。(選択肢:ネットワーク画質/標準画質/中画質/高画質/最高画質)
録画モード	録画モードを選択します。 (選択肢:常時録画/モーション録画/センサー録画/スケジュール録画/録画しない) ※ 各モードの詳しい説明は「3.3.1.録画モードの種類」を参照ください。
センサー録画	各チャンネルに、4つのセンサーから1つのセンサーを設定することができます。
イベント前記録	モーション録画やセンサー録画設定の場合、モーション検知や外部センサー入力などのイベントが発生する前の映像をハードディスクに保存することができます。イベント発生前のどれ位の間の映像を保存するかを選択します。(選択肢:OFF/15秒/30秒/1分/3分/20分)
イベント後記録	センサー検出後からの録画時間を指定します。(設定範囲:10～30秒/60秒)
音声	ライブ映像の音声を記録するかを設定します。(選択肢:ON/OFF)
スケジュール	1週間単位のスケジュール設定によって、指定された曜日や時刻に録画モードが自動的に変更されます。 ボタンを押すと、スケジュール画面が表示され、1週間単位の録画スケジュールが設定できます。 ※ 詳細は「3.3.2. スケジュール設定」をご参照ください。

3.3.1 録画モードの種類

録画する条件を6つの録画モードから選択できます。

常時録画

：DVRの電源がONになっている間は常時録画を行います。

モーション録画

：DVR内蔵のモーションセンサーが反応すると録画を行います。

センサー録画

：DVRの外部センサー入力端子(S1～S4)に接続されたセンサー機器などが反応すると録画を行います。

スケジュール録画

：録画設定メニューの「スケジュール」項目で設定されたスケジュール通りに録画を行います。

録画しない

：録画を行いません。

手動録画

：DVRのフロントパネルかリモコンの「REC」ボタンを押すか、マウスでタスクバーやポップアップメニューから「手動録画」をクリックすると、各チャンネルの録画モードを無視し、リアルタイムで録画を開始します。手動録画モードを解除する時は、「REC」ボタンをもう一度押してください。

3.3.2 スケジュール設定

① 録画設定メニューで「スケジュール」項目に移動し、「SEL」ボタンを押すとスケジュール設定画面が表示されます。

② 「チャンネル」項目に、スケジュールを設定したいチャンネルを指定します。(選択肢：1～4)

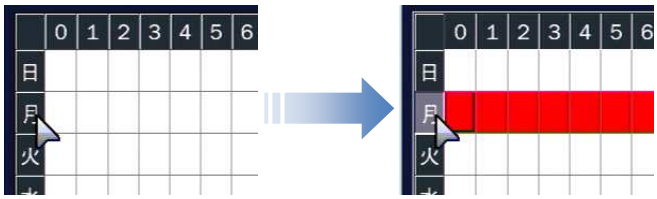
③ 下のボタンから録画モードを選択します。

④ スケジュール表のマス目をクリック、あるいはドラックすると、選択中の録画モードが設定されます。各録画モードごとに、マス目に表示される色が違います。

色	録画モード
緑	常時録画
赤	センサー録画
黄色	モーション録画
白(色なし)	録画しない

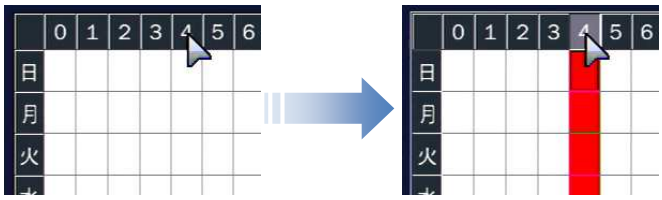
- 1日中同じ設定にしたい場合は、縦軸の曜日ボタンをクリックします。

  例）
  「月」をクリックすると、月曜日の24時間が選択した録画モードに設定されます。



- 毎日指定した時間だけを同じ設定にしたい場合は、横軸の数字をクリックします。

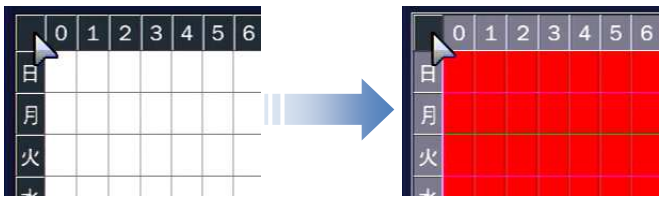
  例）
  「4」をクリックすると、毎日の04:00～05:00の間の時間が選択した録画モードに設定されます。



- 毎日同じ設定にしたい場合は、縦軸と横軸が接する部分のマス目をクリックします。

  例）

  をクリックすると、毎日の全時間帯が選択した録画モードに設定されます。



-

ボタンをクリックすると、スケジュール表の録画モード設定が全部消え、初期化されます。

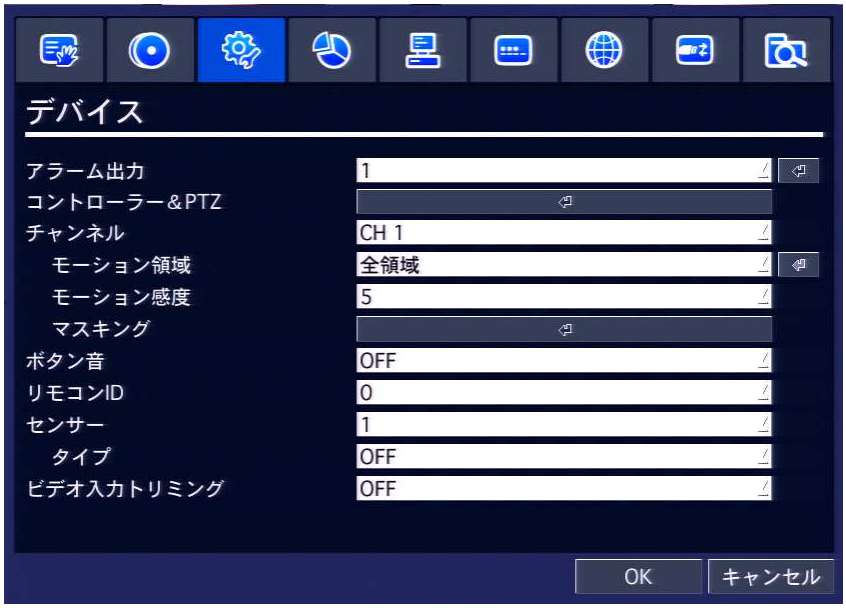
⑤ 「OK」をクリックすると、録画モードが「スケジュール」になっているチャンネルの録画モードが設定したスケジュール通りに変更されます。

※ 設定したスケジュールを他のチャンネルにコピーしたい場合
「スケジュールを他のCHにコピー」の項目で、スケジュールを上書きしたいチャンネルのチェックボックスにチェックを入れ、

ボタンをクリックすると、スケジュール表の設定が選択チャンネルに適用されます。

3.4 デバイス設定

センサーやPTZカメラなどの外部装置に関する設定を行います。



デバイスメニューの項目

項目	説明
アラーム出力	ボタンを押すと表示されるアラーム出力画面で外部センサー、モーション検知、VIDEO LOSSなどによるアラーム出力を設定します。 ※ 詳細は「3.4.1. アラーム出力設定」をご参照ください。
コントローラー&PTZ	ボタンを押すと表示されるコントローラー&PTZ画面で、コントローラーやPTZカメラの接続設定を行います。 ※ 詳細は「3.4.2. コントローラー&PTZ設定」をご参照ください。
チャンネル	モーション領域を設定するチャンネルを指定します。(選択肢:CH1～CH数)
モーション領域	モーション検出の領域を指定します。(選択肢:全領域/検出枠) 検出枠を選び、ボタンを押すと表示される検出枠設定画面でモーションを検出する領域を設定します。 ※ 詳細は「3.4.3. モーション検出領域設定」をご参照ください。
モーション感度	モーション検出の感度を選択します。(選択肢:1～9) 数字が高くなるほど敏感になります。
マスキング	ライブや録画映像で表示したくない領域を指定します。4領域まで指定できます。 ※ 詳細は「3.4.4. マスキング」をご参照ください。
ボタン音	本機のパネルのボタンまたはリモコンのボタンを押す時、音を出力するかどうかを選択します。(選択肢:ON/OFF)
リモコンID	リモコンのIDを設定します。(選択肢:0～99) ※ 詳細は「3.4.5. リモコンIDの操作」をご参照ください。
センサー番号	センサータイプを設定するセンサー番号を指定します。(選択肢:1～4)
タイプ	指定した番号のセンサータイプを選択します。 (選択肢:OFF/NORMAL OPEN/NORMAL CLOSE)

	● NORMAL OPEN：通常はオープン状態で、クローズしたら反応する ● NORMAL CLOSE：通常はクローズ状態で、オープンしたら反応する ● OFF：反応しない
ビデオ入力トリミング	704x480の解像度を持つカメラを接続する際に、画像をトリミングして表示する為の設定です。当社製カメラや上記以外の通常カメラを接続する場合、OFFで使用します。(選択肢：ON/OFF)

3.4.1 アラーム出力設定

アラーム出力の条件を設定します。

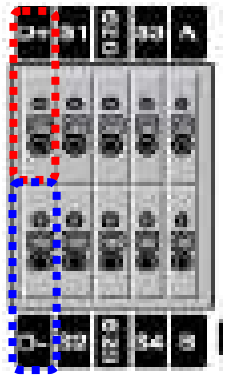
アラーム出力メニューの項目

項目	説明
アラーム出力	1から変更する必要はありません。
アラーム維持時間	アラーム信号とブザー音の継続時間を設定します。(選択肢：5～60秒、無限)

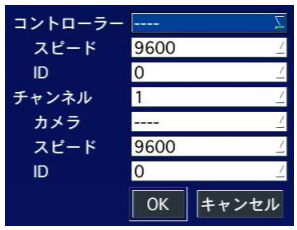
3.4.2 コントローラー&PTZ設定

コントローラーやPTZ機能の操作のため、まずコントローラーやPTZカメラの接続と設定が必要です。

コントローラーやPTZカメラのRS-485ケーブルを後面パネルのRS-485ポート(D+、D-)に接続します。



メモ ： RS-485対応のスピードドームカメラをRS-485端子に接続してください。カメラがRS-232Cからコントロールされている場合は、RS-485→RS-232C シグナルコンバーターをご使用ください。



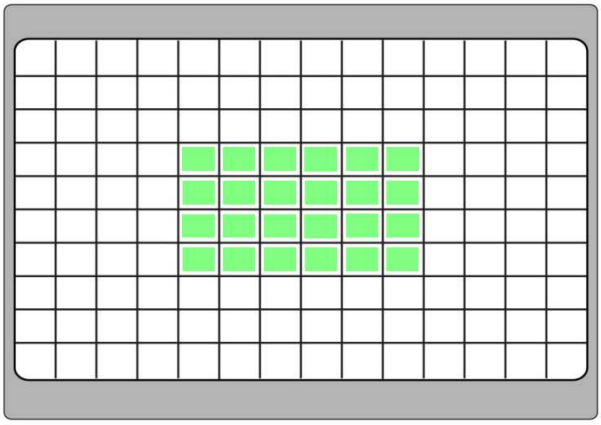
コントローラー&PTZメニューの設定

項目	説明
コントローラー	接続しているコントローラーのタイプを選択します。
スピード	コントローラーとの通信速度を設定します。(選択肢：2400/4800/9600/14400/19200)
ID	接続しているコントローラーのIDを設定します。(選択肢：0～63)
チャンネル	下位項目(ネーム、スピード、ID)を設定するチャンネルを指定します。
カメラ	接続しているPTZカメラのプロトコルタイプを選択します。
スピード	PTZカメラとの通信速度を設定します。(選択肢：2400/4800/9600/14400/19200)
ID	接続しているカメラのIDを設定します。(選択肢：0～63)

※ 詳しい操作方法はご使用のコントローラーやPTZカメラの取扱説明書をご参照ください。

3.4.3　モーション検出領域設定

① デバイス設定画面のモーション領域項目で「検出枠」を選び、 ボタンを押すとモーション検出枠の設定画面が表示されます。



検出枠設定画面

② コントロールボタン(▲▼◂▸)でモーションを検知する箇所にカーソルを移動させ、「SEL」ボタンを押すか、マウスの左ボタンをクリックするとモーション検出領域に設定されます。モーション検出領域に指定された枠は緑色に塗りつぶされます。

③ 繰り返し操作で、モーションを検知する範囲を選択してください。

④ 設定が終了したら、「ESC」ボタンを押すか、マウスの右ボタンをクリックしてデバイス設定メニューに戻ります。

3.4.4　マスキング

① デバイス設定画面のマスキング項目を選び、 ボタンを押すとマスキング領域の設定画面が表示されます。

② コントロールボタン(▲▼◂▸)でマスキング開始点にカーソルを移動させ、「SEL」ボタンを押すか、マウスの左ボタンをクリックして範囲を選択するとマスキング領域に設定されます。マスク1は紫色、マスク2は黄緑色、マスク3は水色、マスク4は黄色で表示されます。

③ マスキング領域を消去する場合は、コントロールボタン(▲▼◂▸)で領域上にカーソルを移動し「ESC」ボタンを押すか、領域上でマウスを右クリックします。

④ 設定終了後、「ESC」ボタンを押すか、マウスの左ボタンで「完了」をクリックしデバイス設定メニューに戻ります。

3.4.5　リモコンIDの操作

① デバイス設定メニューの「リモコンID」項目でリモコンIDを設定します。0～99の数字で設定できます。0に設定するとライブ画面の右下に R:ALL のアイコンが表示され、どのリモコンでも本機を操作できます。

② 「ESC」ボタン繰り返し押してライブ画面に戻ります。リモコンIDを0以外の数字に設定した場合、ライブ画面の右下の R:ALL のアイコンが消え、IDが設定されてないリモコンでは操作できなくなります。

③ リモコンの「ID」ボタンを押し、本機に設定したIDと同じ2桁の数字ボタンを押します。リモコンにIDが設定されます。

④ 本機とリモコンに設定したのIDが一致すると、本機が操作できるようになります。

3.5 録画装置設定

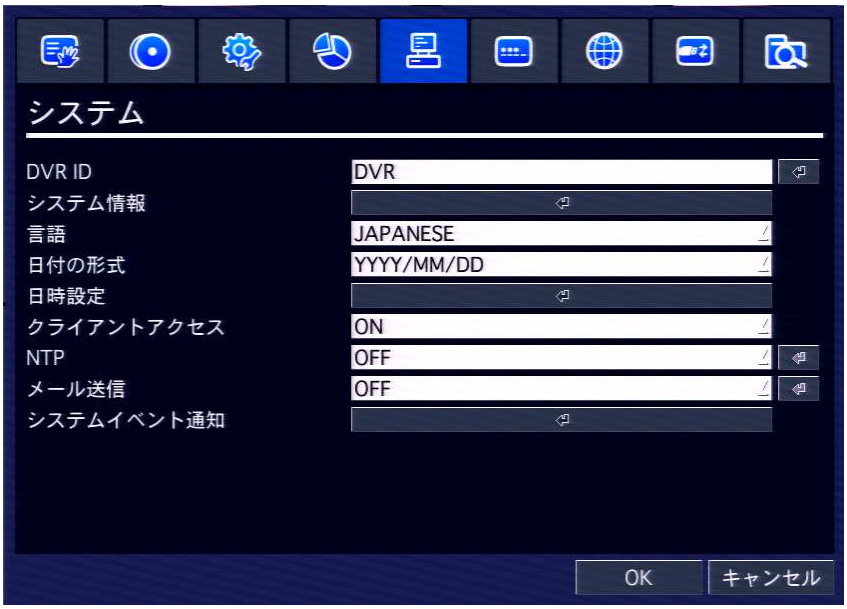
ハードディスクに関する設定を行います。

録画装置メニューの項目

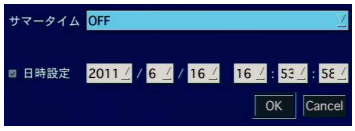
項目	説明
上書き	ハードディスクの容量がいっぱいになったとき、古い映像を削除し、そこに上書きして録画をつづけるための設定です。(選択肢:ON/OFF) ※ 上書きがONに設定されている場合、必要な映像はあらかじめ外部メモリーなどにバックアップしてください。 ※ 上書きがOFFに設定されている場合、ハードディスクの容量がいっぱいになると録画を停止します。
HDDフォーマット	内蔵のハードディスクを初期化します。ボタンを押すと、フォーマット画面が表示されます。「はい」を選択するとフォーマットを行い、DVRが再起動します。 ※ すべての記録が失われます。フォーマットをおこなう前に、必要な映像はあらかじめ外部メモリーなどにバックアップしてください。
HDD情報	ボタンを押すと、搭載されているハードディスクの総容量と残容量，HDDの録画開始時刻と最終録画時刻、温度や通電時間などが確認できます。
記録保存日数制限	録画記録を保存する期間を制限します。(選択肢:ON/OFF)
記録保存日数	「録画制限」設定がONの場合、録画記録を保存する日数を設定します。(設定範囲:1～90日) ハードディスクには設定した日数だけのデータを残し、それ以上のデータは古い順番で削除されます。

3.6 システム設定

DVRのシステムを管理するための設定や、システム情報の確認ができます。



システムメニューの項目

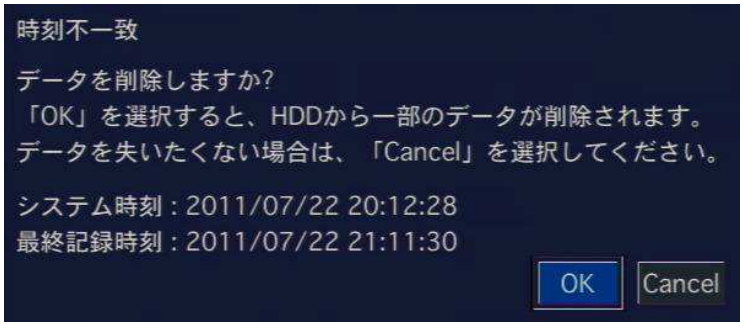
項目	説明
DVR ID	本機を複数接続するときは、各機器に固有の名前を付けることができます。ボタンを押し、文字表でDVR IDを入力します。
システム情報	ボタンを押すと表示されるシステム情報画面からハードウェア・ソフトウェアのバージョン、HDD容量、IPアドレス、MACアドレス、DDNSステータス、ポートフォワードステータスなどが確認できます。
言語	表示言語を指定します。
日付の形式	日付表示形式を選択します。 ● 適用例 ： 2000年12月25日の場合、 YYYY-MM-DD ： 2000-12-25　　MM-DD-YYYY ： 12-25-2000 DD-MM-YYYY ： 25-12-2000　　YYYY/MM/DD ： 2000/12/25 MM/DD/YYYY ： 12/25/2000　　DD/MM/YYYY ： 25/12/2000
日時設定	ボタンを押すと日時設定画面が表示されます。  ① まず、サマータイムを設定します。(選択肢：OFF/北米/欧州/その他) ● サマータイムを使用しない日本地域の場合は「OFF」に設定してください。 ② 「日時設定」項目のチェックボックスにチェックを入れると、システムの現在時刻が変更できるようになります。 ③ 年/月/日/時/分/秒を設定し、「OK」ボタンを押します。 ④ 変更日時を適用するかを確認する画面が表示されます。「はい」を選択します。 ⑤ 設定の保存画面で「はい」を選択すると、DVRが再起動し、変更した日時が適用されています。 ※ 従来の時刻より前の時刻に変更した場合、「時刻不一致」が発生することがあります。詳細は「3.6.1. 時刻不一致が発生した場合は」をご参照ください。

クライアントアクセス	ネットワークを通じて、外部のPCからDVRへ接続することを許可するか、しないかを設定します。(選択肢:ON/OFF)
NTP	インターネットまたはLAN上のNTPサーバーを使って時刻合わせを行うための設定です。(選択肢:ON/OFF) ONを選択し、ボタンを押すと、NTPの設定ができます。 ※　詳細は「3.6.2. NTP設定」をご参照ください。
メール送信	DVRからメールを送信する機能です。(選択肢:ON/OFF) ONを選択し、ボタンを押すと、メール送信の設定ができます。 ※　詳細は「3.6.3. メール送信設定」をご参照ください。
システムイベント通知	イベント発生時のDVRアラーム、ブザー及びメール送信に関する設定を行います。 メール送信を使用時は、「メール送信」をONにし詳細を設定する必要があります。 ※　詳細は「3.6.4. システムイベント通知設定」をご参照ください。

3.6.1　時刻不一致が発生した場合は

日時設定メニューから日時を更新してリブートした時、新しい時刻が最終録画時刻より前の時刻であると、「時刻不一致」が発生します。システムの現在時刻より未来の記録が存在することはシステム的に成立できませんので、現在時刻と最終録画時刻の間にあるデータは消去することになります。

① 日時を変更してシステムが再起動した時、変更した新しい日時より以前の時刻の録画データが存在すると「時刻不一致」のメッセージが表示されます。



② 新しい日時をそのまま適用してデータを削除するか、日時設定を変更前の状態に戻すかを選択します。

③ 選択肢から「OK」を選択すると、システムの日時を設定した通りに更新し、その日時より後のデータはハードディスクから消去します。

④ 選択肢から「Cancel」を選択すると、日時設定を変更する前の日時に戻ります。

3.6.2　NTP設定

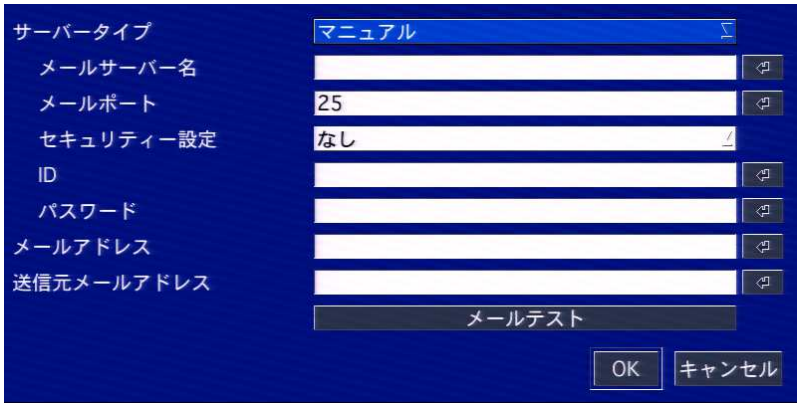
ネットワーク上のNTPサーバーに接続し、DVRの時計を標準時刻に同期することができます。

NTPメニューの設定

項目	説明
NTPサーバーアドレス1	同期をあわせるために接続するNTPサーバーを指定します。ボタンをクリックし、表示される文字入力表で、サーバーのアドレスを入力します。
NTPサーバーアドレス2	NTPサーバーアドレス1が接続できなくなった場合に、接続するNTPサーバーを指定します。ボタンをクリックし、表示される文字入力表で、サーバーのアドレスを入力します。
時間帯	使用地域のグリニッジ標準時を選択します。(設定範囲:GMT-12:00～+13:00) 日本国内では、「GMT+9:00」を選択してください。
接続モード	NTP同期合わせを行う時点を選択します。(選択肢:周期指定/時刻指定/一回) 「周期指定」は、数時間ごとに1回、NTP同期合わせを行います。 「時刻指定」は、毎日指定した時刻にNTP同期合わせを行います。 「一回」は、この選択しを選択して設定メニューから抜けた時点に1回のみ、NTP同期合わせを行います。
接続時点	同期する時間あるいは時刻を設定します。(設定範囲:1～24) ● 接続モードが「時刻指定」の場合: 設定範囲は01:00AM～24:00AMです。毎日設定した時刻にNTP時刻合わせを行います。 ● 接続モードが「周期指定」の場合: 設定範囲は1時間ごと～24時間ごとです。例えば、「8時間ごと」に設定したら、8時間ごとにNTP時刻合わせを行います。

3.6.3 メール送信設定

DVRからメールを送信するための設定を行います。

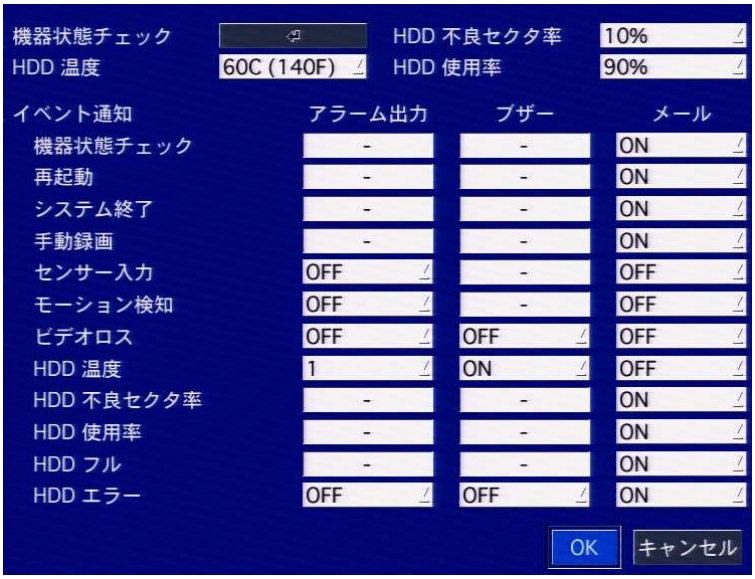


メール送信メニューの設定

項目	説明
サーバータイプ	メールサーバーのタイプを選択します。 (選択肢:マニュアル/GMAIL/HOTMAIL/AOL/YAHOO)
メールサーバー名	サーバータイプで「マニュアル」選択時にメールサーバーの名前を入力します。 「マニュアル」以外を選択時は、自動的に入力され変更不要です。
メールポート	サーバータイプで「マニュアル」選択時にメール伝送時のポート番号を指定します。 ボタンをクリックし、表示される文字入力表で、ポート番号を入力します。 「マニュアル」以外を選択時は、自動的に入力され変更不要です。
セキュリティー設定	サーバータイプで「マニュアル」選択時に、セキュリティーのため、暗号化された送信を対応するメールサーバーを使用する場合、プロトコルを選択します。

	(選択肢:なし/SSL/TLS) 「マニュアル」以外を選択時は、自動的に入力され変更不要です。
ID	メールサーバーに接続するユーザーのIDを設定します。ボタンをクリックし、表示される文字入力表で、IDを入力します。
パスワード	メールサーバーに接続するユーザーのパスワードを設定します。ボタンをクリックし、表示される文字入力表で、パスワードを入力します。
メールアドレス	メールの送信先を指定します。ボタンをクリックし、表示される文字入力表で、送信先のメールアドレスを入力します。
送信元メールアドレス	メールの送信元を指定します。ボタンをクリックし、表示される文字入力表で、送信元のメールアドレスを入力します。

3.6.4 システムイベント通知設定



システムイベント通知の設定

項目	説明
機器状態チェック	チャンネル毎のカメラ信号入力状態、HDDで録画されているデータの期間及びHDD情報をチェックします。期間でチェックする期間を設定します。
HDD温度	HDD温度が設定値を超えていないか監視します。 (選択肢:40～80℃ 初期値60℃)
HDD不良セクタ率	HDD不良セクタ率が設定値を超えていないか監視します。 (選択肢:0～50% 初期値10%)
HDD使用率	HDD使用率が設定値を超えていないか監視します。 (選択肢:75～95% 初期値90%)

イベント通知

イベント通知	アラーム出力	ブザー	メール
機器状態チェック	設定不可	設定不可	ON/OFF
再起動	設定不可	設定不可	ON/OFF
システム終了	設定不可	設定不可	ON/OFF
手動録画	設定不可	設定不可	ON/OFF
センサー入力（※）	ON/OFF	設定不可	ON/OFF
モーション検知（※）	ON/OFF	設定不可	ON/OFF
ビデオロス	ON/OFF	ON/OFF	ON/OFF
HDD温度	ON/OFF	ON/OFF	ON/OFF
HDD不良セクタ率	設定不可	設定不可	ON/OFF
HDD使用率	設定不可	設定不可	ON/OFF
HDDフル	設定不可	設定不可	ON/OFF
HDDエラー	ON/OFF	ON/OFF	ON/OFF

※ センサー入力とモーション検知を有効にするには、録画モードをそれぞれセンサー録画、モーション録画に設定する必要があります。

3.7 セキュリティー設定

セキュリティーのためのパスワードやアクセス権限などが設定できます。

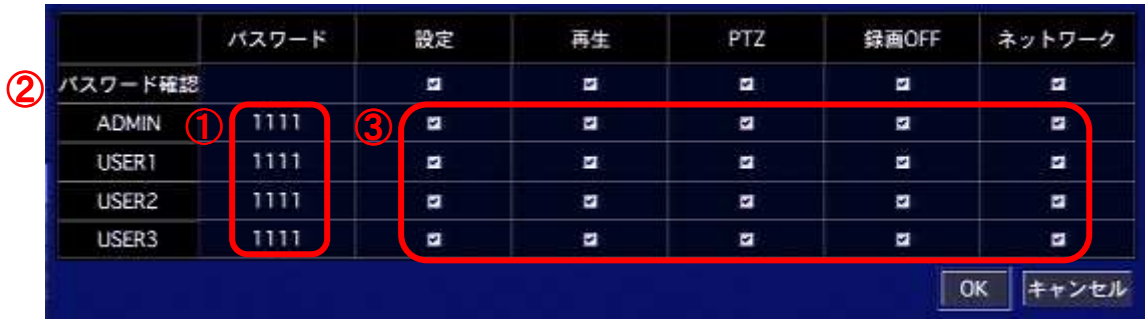
セキュリティーメニューの項目

項目	説明
使用者権限	ボタンを押すと、使用者権限画面が表示され、各使用者が操作できるメニューの範囲を設定できます。 ※ このメニューには、「管理者」権限でログインした使用者のみ、入ることができます。 ※ 詳細は「3.7.1. 使用者権限設定」をご参照ください。

使用者名変更	ボタンを押すと、USERの名称を変更して設定することができます。 ※　詳細は「3.7.2. 使用者名変更設定」をご参照ください。
使用者パスワード	ボタンを押すと、使用者パスワード画面が表示され、各使用者ごとにパスワードを設定できます。 ※　詳細は「3.7.3. 使用者パスワード設定」をご参照ください。
データ検索権限	ボタンを押すと、データ検索権限画面が表示され、各使用者が検索できるチャンネルを設定できます。 ※　このメニューには、「管理者」権限でログインした使用者のみ、入ることができます。 ※　詳細は「3.7.4. データ検索権限設定」をご参照ください。
遠隔監視権限	ボタンを押すと、データ表示権限画面が表示され、各使用者がモニタできるCHを選択することができます。 ※　詳細は「3.7.5.遠隔監視権限設定」をご参照ください。

3.7.1 使用者権限設定

使用者ごとに各メニューにアクセスできる権限を設定します。



使用者権限メニューの設定

項目	説明
① パスワード	各使用者の現在のパスワードを表示します。ダブルクリックすると、パスワード変更の画面が表示されます。
② パスワード確認	設定/検索/PTZ/手動録画終了/ネットワークアクセスを操作する時、使用者のパスワードを確認するかを設定します。チェックをはずした項目は、パスワードを入力しなくても操作することができます。
③ アクセス権限	設定/検索/PTZ/手動録画終了/ネットワークアクセスの操作について、各使用者のアクセス権限を設定します。チェックをはずされたユーザーは、該当項目の操作ができなくなります。

3.7.2 使用者名変更

使用者名を変更することができます。

ユーザーで名前を変更する使用者を選択し、ボタンを押すと、任意に使用者名を変更することができます。

3.7.3 使用者パスワード設定

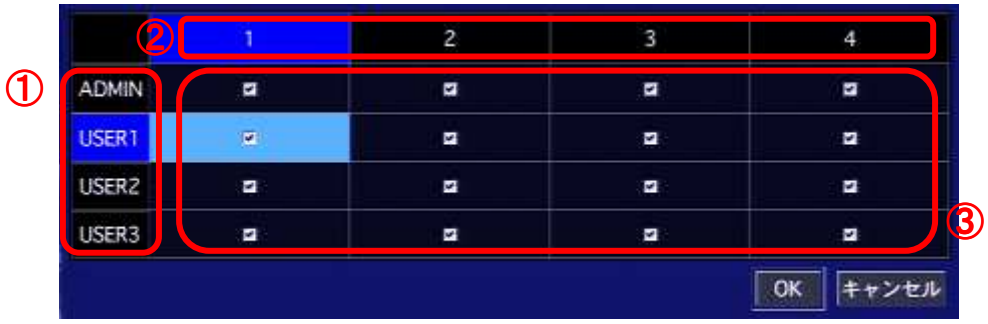
各ユーザーのパスワードが変更できます。

使用者パスワードの設定

項目	説明
ユーザー	パスワードを設定･変更したい使用者を選択します。(選択肢：管理者/ユーザー1/ユーザー2/ユーザー3)
現在	ボタンを押すと文字表が表示されます。現在のパスワードを入力します。 ※　各使用者のパスワードの工場出荷時の初期値は1111です。
新	ボタンを押すと文字表が表示されます。変更したいパスワードを入力します。
確認	ボタンを押すと文字表が表示されます。上記の「新」で入力したパスワードをもう一度入力します。

3.7.4 データ検索権限設定

各ユーザーが検索できるチャンネルが設定できます。



データ検索権限の設定

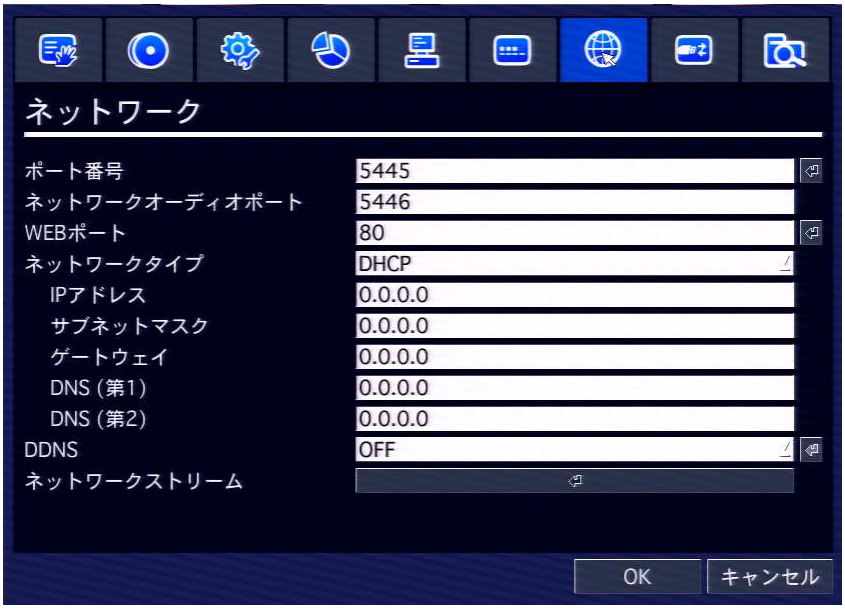
項目	説明
① ユーザー	検索権限が設定できるユーザーリストです。
② チャンネル	検索権限が設定できるチャンネルリストです。
③ チェックボックス	各ユーザーは、チェックがはずされたチャンネルの再生映像を見ることができません。

3.7.5　遠隔監視権限設定

各ユーザーが遠隔監視できるチャンネルが設定できます。設定方法は、3.7.4と同様です。

3.8 ネットワーク設定

ネットワークで接続するための設定を行います。



ネットワークメニューの項目

項目	説明
ポート番号	ボタンを押すと表示される数字表で、クライアントソフトなど、遠隔地から接続する時に使用するポート番号を入力します。
ネットワークオーディオポート	クライアントソフトなど、遠隔地から接続する時に音声を伝送するためのポート番号です。この項目は、ポート番号に指定した番号の+1の数字が自動的に設定されます。
WEBポート	ボタンを押すと表示される数字表で、WEBクライアントや遠隔設定画面を表示するためのWEBブラウザー接続時に使用するポート番号を入力します。
ネットワークタイプ	接続するネットワークタイプを選択します。(選択肢： 固定/DHCP) ● 固定： 固定IPを使用する場合、選択します。IPアドレスなどの下位項目を使用者が直接入力して設定します。ルータを使用している場合はこれを選択してください。 ● DHCP： 固定ではない、動的IPを使用する場合に選択します。
IPアドレス	を押すと表示される数字表で、DVRにのIPアドレスを入力します。 ネットワークタイプがDHCPの場合は、この項目が自動的に割り当てられますので、使用者が設定することはできません。
サブネットマスク	を押すと表示される数字表で、使用するネットワークのサブネットマスクを入力します。ネットワークタイプがDHCPの場合は、この項目が自動的に割り当てられますので、使用者が設定することはできません。
ゲートウェイ	を押すと表示される数字表で、使用するネットワークのゲートウェイを入力します。ネットワークタイプがDHCPの場合は、この項目が自動的に割り当てられますので、使用者が設定することはできません。
DNS(第1)	を押すと表示される数字表で、DNSサーバーのアドレスを入力します。 ネットワークタイプがDHCPの場合は、この項目が自動的に割り当てられますので、使用者が設定することはできません。

DNS(第2)	を押すと表示される数字表で、DNSサーバーのアドレスを入力します。 ネットワークタイプがDHCPの場合は、この項目が自動的に割り当てられますので、使用者が設定することはできません。
DDNS	ネットワークを通じてDVRにアクセスする時、IPアドレスではなくドメイン名で接続したい場合は、DDNSサーバーに登録し、DDNSサービスを利用することができます。 (選択肢: OFF/サーバー1/サーバー2/サーバー3) サーバー1、サーバー2、サーバー3のいずれかを選択し、 ボタンを押すと表示されるDDNSサーバー設定画面で、使用するDDNSサーバーを設定します。 ※ 詳細は「3.8.1. DDNSサーバーの設定」をご参照ください。
ネットワークストリーム	ボタンを押すとネットワークストリーム設定画面が表示されます。 ネットワークを通じて外部のPCへ伝送するデータのフレームレートや画質をチャンネルごとに設定します。USE MOBILEをチェックするとデータ量を削減するために解像度:CIF,フレーム:15,画質:標準に固定されます。

3.8.1 DDNSサーバーの設定

DDNSサーバーに登録したドメイン名で外部PCからアクセスすることができます。

3.8.1.1 bestddns.comを利用する場合(通常はこのサーバを使用してください。)

「DDNS」項目に「サーバー1」を選択し、 ボタンを押すと、DDNS設定画面が表示されます。

別途http://www.bestddns.comでMACアドレス、シリアルナンバ及びドメイン名の登録が必要となります。

DDNSサーバー1の設定

項目	説明
DDNSサーバー名	DDNSサーバー名を選択します。「bestddns.com」を選択してください。
DDNS更新周期	DDNSサーバーとの更新周期を設定します。(設定範囲: 5～60分)

3.8.1.2 その他のDDNSサーバーを利用する場合

「DDNS」項目に「サーバー2」を選択し、 ボタンを押すと、DDNS設定画面が表示されます。

DDNSサーバー2の設定

項目	説明
DDNSサーバー名	ボタンを押すと表示される文字表で、利用するDDNSサーバーのアドレスを入力します。
DDNS ID	ボタンを押すと表示される文字表で、DDNSサーバーに登録するIDを入力します。
DDNSパスワード	ボタンを押すと表示される文字表で、DDNSサーバーに登録するパスワードを入力します。
DDNS更新周期	DDNSサーバーとの更新周期を設定します。(設定範囲: 5～60分)

3.8.1.3 okddns.comを利用する場合

「DDNS」項目に「サーバー3」を選択し、 ボタンを押すと、DDNS設定画面が表示されます。

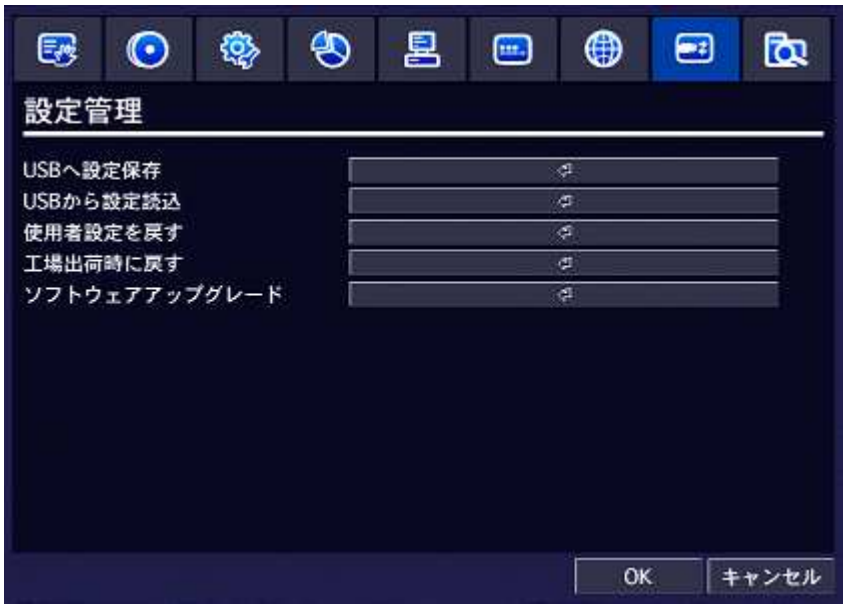
このddnsサーバは、WEBブラウザからの登録等が不要です。

DDNSサーバー3の設定

項目	説明
DDNSホストネーム	ボタンを押すと任意のDDNSホスト名を設定することができます。 オートボタンを押すとDVRのMACアドレスがホストネームとして自動的に設定されます。
ホストドメインネーム	ホストドメイン名が表示されています。変更はできません。

3.9 設定管理

設定した内容の保存や初期化などができます。



設定管理メニューの項目

項目	説明
USBへ設定保存	DVRの現在の設定値をUSBメモリーに保存します。 USBメモリーをDVRのUSB端子に接続し、この項目を選択すると、USBメモリーの中にconfigフォルダーが生成され、DVRの設定値がCFG形式で保存されます。
USBから設定読込	USBメモリーに保存した設定値をDVRに呼び出します。 USBメモリーをDVRのUSB端子に接続し、この項目を選択すると、USBメモリーの中のconfigフォルダーに保存されている設定値を読取り、DVRの設定メニューに上書きします。
使用者設定を戻す	設定を初期化します。但し、言語・DVRのID・使用者権限・使用者パスワード・日時の形式・DLS設定・ネットワーク設定・HDDシリアル番号・HDDエラー記録の設定は維持されます。 ボタンを押すと表示される選択画面で「はい」を選択すると、DVRがリブートし、設定値が初期化されます。
工場出荷時に戻す	すべての設定を工場出荷時と同じく初期化します。 ボタンを押すと表示される選択画面で「はい」を選択すると、DVRがリブートし、設定値が初期化されます。
ソフトウェアアップグレード	この項目は、サービス専用です。この機能の操作は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

3.10 簡単設定

録画したい日数に合わせて、録画条件が自動的に設定されます。

簡単設定メニューの項目

項目	説明
簡単設定を適用	簡単設定を使用するかを設定します。 チェックボックスにチェックを入れると、装着されているハードディスクの総容量を基準とし、「録画日数」に合わせてシステムが最適の録画条件を設定します。 ※　「簡単設定を適用」すると、「録画」メニューに設定されている録画条件は無視されます。

録画日数	簡単設定を適用して、録画したい日数を指定します。 ボタンを押すと表示される文字表で、数字を入力します。
使用者設定	この下位項目の解像度、録画フレーム、画質、録画モード、予想録画日数は、使用者が「録画日数」に入力した数字によって自動的に変更されます。 また、各項目の設定値を直接変更することもできます。その場合、システムの計算によって予想録画日数が変わります。

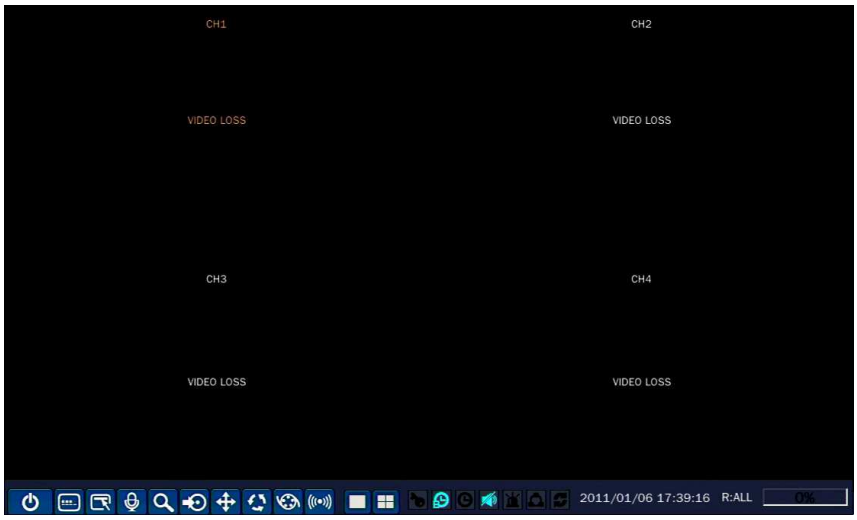
注意 ：「予想録画日数」は、理論上の計算による推定値です。画像の動きや色彩によって、実際の録画日数とは異なることがあります。

4. ライブ監視

4.1 ライブ画面の説明

DVRが起動すると最初に表示される基本モードです。接続されているカメラのライブ映像が見られます。

画面の下端のタスクバー操作に必要なアイコンや、動作状態などが表示されます。



ライブ画面のタスクバーの表示アイコン

アイコン	説明
	システムを終了します。
	使用者の操作をロックします。クリックして管理者のパスワードを入力すると、マウスやリモコン、前面パネルのボタンによる操作ができなくなります。 ロックの解除も同じ手順で行います。
	設定メニューに入ります。 ※　設定メニューの説明は「2. 設定のしかた」をご参照ください。
	音声を出力するモードを選択します。クリックするごとにCH1音声出力→CH2音声出力→CH3音声出力→CH4音声同時出力→消音→CH1音声出力→…の順番で切換わります。
	検索メニューに入ります。 ※　検索メニューの説明は「4. 検索と再生」をご参照ください。
	ライブ画像の静止画をUSBメモリーにバックアップします。 バックアップの前に、USBメモリーをDVRに装着してください。

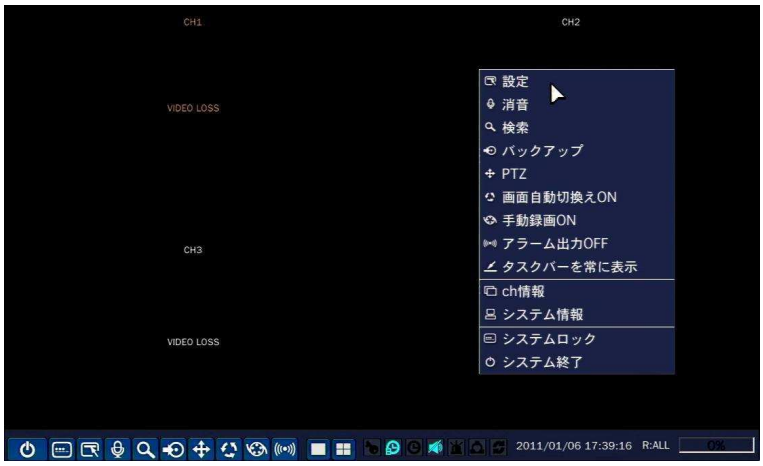
	PTZカメラコントロールメニューに入ります。 ※　PTZメニューの説明は「5. PTZカメラの操作」をご参照ください。
	画面自動切換え動作を開始/中止します。 この機能は、全チャンネル分割画面表示状態では動作しません。
	手動録画を開始/中止します。 手動録画を始めると、「録画」メニューで設定した録画モードは無視されます。
	アラーム出力機能をON/OFFにします。
	ライブ映像を1画面で表示します。クリックするごとに表示チャンネルが切換わります。 ※　4/9/16画面表示状態で、1画面に表示したいチャンネルのライブ映像をダブルクリックすることで1画面表示することもできます。
	ライブ映像を4画面で表示します。クリックするごとに表示チャンネルが4つずつ変わります。 ※　1画面表示状態で、ライブ映像をダブルクリックすることで、選択チャンネルを含めた4つのチャンネルを4画面表示することもできます。
	ライブ映像を9画面で表示します。クリックするごとに表示チャンネルが9つずつ変わります。 ※　4画面表示状態で、ライブ映像をダブルクリックすることで、選択チャンネルを含めた9つのチャンネルを9画面表示することもできます。 ※　このアイコンは、4chモデルでは表示されません。
	ライブ映像を16画面で表示します。 ※　9画面表示状態で、ライブ映像をダブルクリックすることで、16画面表示することもできます。 ※　このアイコンは、16chモデルのみ表示されます。
	使用者の操作がロック状態の時にハイライトされます。
	アラーム出力機能がONの時にハイライトされます。アラーム出力機能がOFFの時には、外部センサーから入力があってもアラーム出力が発生しません。
	アラーム出力中に表示します。
	音声出力状態を表示します。音声出力モードによって、消音/1ch音声出力/4ch音声同時出力のアイコンに切換ります。
	モーション検知、外部センサー入力、VIDEO LOSS発生時に表示します。
	ネットワーククライアントがDVRに接続している時に表示します。
	画面自動切換えが動作している時に表示します。
	NSF動画バックアップで大容量バックアップを選択した際に進捗状況を表示します。
2011/02/08 16:18:26	現在の日時を表示します。 ※　現在の日時は「システム」メニューで設定できます。
R:ALL	現在操作中のリモコンのIDを表示します。 例）リモコンのIDが35に設定してあると、R:35と表示されます。 リモコンIDが設定されていない場合はR:ALLを表示します。 ※　リモコンIDは「デバイス」メニューで設定できます。
90%	ハードディスクの使用容量を0～99%で表示します。

映像表示部の表示アイコン

アイコン	説明
チャンネル名	各チャンネル映像の上部の中央に表示されます。 チャンネル名は、「画面表示」メニューで設定できます。
VIDEO LOSS	映像入力端子に入力信号がないチャンネルの中央に表示します。
C	常時録画中のチャンネル映像の右上に表示されます。
M	モーション録画中のチャンネル映像の右上に表示されます。
S	センサー録画中のチャンネル映像の右上に表示されます。
R	手動録画中のチャンネル映像右上に表示されます。
A	アラーム発生中のチャンネル映像右上に表示されます。

4.1.1 ポップアップメニュー

ライブ画面の上にカーソルを位置させ、マウスの右ボタンをクリックすると、ポップアップメニューが表示されます。



ポップアップメニューの項目

項目	説明
設定	設定メニューに入ります。 ※　設定メニューの説明は「2. 設定のしかた」をご参照ください。
音声	音声を出力するチャンネルを選択します。クリックするごとに、CH1音声出力→CH2音声出力→CH3音声出力→CH4音声同時出力→消音→CH1音声出力→…の順番で切換わります。
検索	検索メニューに入ります。 ※　検索メニューの説明は「4. 検索と再生」をご参照ください。
バックアップ	ライブ画像の静止画をUSBメモリーにバックアップします。
カメラPTZ	PTZカメラコントロールメニューに入ります。 ※　PTZメニューの説明は「5. PTZカメラの操作」をご参照ください。
画面自動切換え	画面自動切換え動作を開始/中止します。 この機能は、1画面表示状態で動作します。
手動録画	手動録画を開始/中止します。 手動録画を始めると、「録画」メニューで設定した録画モードは無視されます。
アラーム出力	アラーム出力機能をON/OFFにします。
タスクバー表示	タスクバーの自動隠し機能をON/OFFにします。

CH情報	選択チャンネルの録画設定情報を表示します。 ※　録画設定については「2.3. 録画設定」をご参照ください。
システム情報	システムの情報を表示します。 ※　システム情報は「システム」メニューの「システム情報」からも確認できます。
システムロック	使用者の操作をロックします。クリックして管理者のパスワードを入力すると、マウスやリモコン、前面パネルのボタンによる操作ができなくなります。 ロックの解除も同じ手順で行います。
システム終了	システムを終了します。

5. 検索と再生

5.1 検索メニューの基本操作

5.1.1 検索画面に入るには

① 検索画面に入るには、以下のような方法があります。

- 前面パネルかリモコンの「SEARCH」ボタンを押します。
- メイン画面の下部のタスクバーから のアイコンをクリックします。
- メイン画面からマウスの右ボタンをクリックし、表示されるポップアップメニューから「検索」をクリックします。

② ログイン画面が表示され、パスワードを入れると検索画面が表示されます。ログイン方法は設定画面に入る時と同じですので、「2.1.2 設定画面に入るには」をご参照ください。

5.1.2 再生時の操作

各検索モードで再生したいデータを選択して再生をはじめると、下図のような再生画面が表示されます。

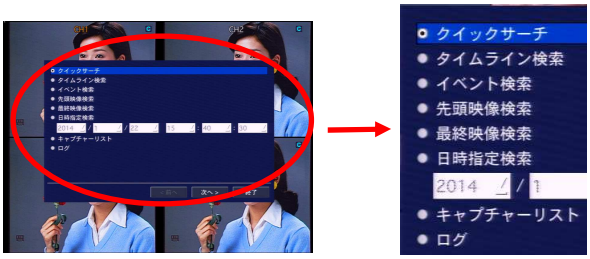
再生画面のコントロールパネルの機能

番号		説明
①	**録画日時**	録画された日付と時刻を表示します。
②	**タイムバー**	再生中の日付の24時間をバーで表示します。録画データがある時間帯は、水色のラインで表示されます。 赤いスライドノブは、現在再生中の時点を示します。マウスでスライドノブをドラッグ &ドロップすると、再生時点が変更できます。
③	**画面分割**	再生画面の表示方法を選択します。
④	**再生状態**	現在の再生モードを表示します。正/逆方向、再生速度などの情報が表示されます。
⑤		クリックするごとにボタンが ⇔ に切換わります。 をクリックすると静止画を表示、 をクリックすると再生を再開します。
		現在再生中の時刻より1分前/先の映像にジャンプして再生します。
		早戻し/早送りします。クリックするごとに再生速度が下記の表のように変わります。
		正方向にスロー再生します。クリックするごとに再生速度が1/4→1/2→1/4･･･に切換ります。
		再生中の映像を静止画か動画でバックアップします。
		再生を中止して検索メニューに戻ります。前面パネルやリモコンの「ESC」ボタンを押しても検索メニューに戻ることができます。

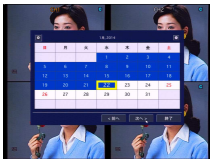
画面分割	再生速度
1画面	x2→x4→x8→x16→x32→x64→x2→x4→･･･
4画面	x2→x4→x8→x16→x32→x2→x4→･･･
9画面	x2→x4→x8→x16→x2→x4→･･･
16画面	x2→x4→x8→x2→x4→･･･

5.2 クイックサーチ

① リモコンのSEARCHボタンを押す。
② ログイン-再生画面が表示されるので、前述のログインするに従う。
③ 検索方法を選択する画面が表示されるので、クイックサーチを選択する。

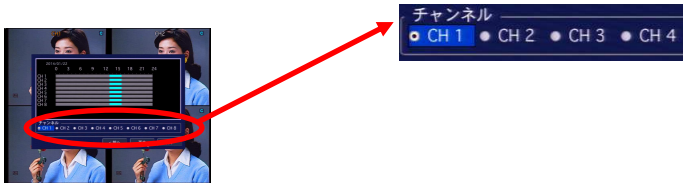


④　リモコンのSELボタンを押し、カレンダーを表示させ録画を再生する日付をリモコンの方向キーで選択し、リモコンのSELボタンを押す。



※ **録画が有る日付は、青色で表示される。**
録画が無い日付は、白色で表示され選択できない。

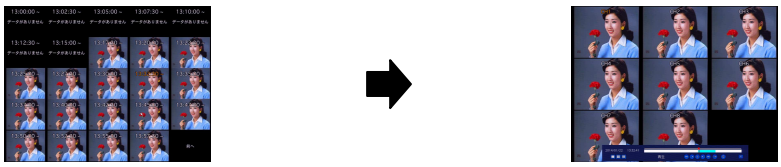
⑤　タイムバーが表示されるので、リモコンの左右ボタンで再生チャンネルを選択する。



⑥　再生する時間帯を選択する(時間単位)。
選択した日付の1時間毎の先頭録画映像が表示されるので、再生したい時間帯の映像に合わせSELボタンを押す。

※ **録画が有る時間帯は先頭映像が表示される。**
録画が無い日付は、「データがありません」と表示され選択不可。

⑦　再生する時間帯を選択する(2 分 30 秒単位)。
選択した時間の2分30秒毎の先頭録画映像が表示されるので、再生したい時間帯の映像に合わせSELボタンを押すと他のチャンネルのデータと共に再生が始まる。



5.3 タイムライン検索

録画データをタイムラインで検索することができます。

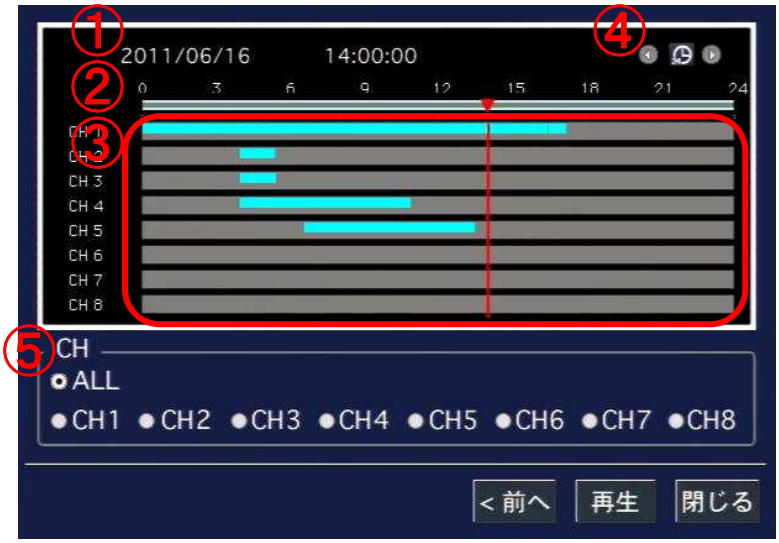
①　検索メニューで「タイムライン検索」を選択し、「次へ」をクリックするとカレンダーが表示されます。

②　カレンダーに、録画データのある日付は青色で、現在の選択日付は黄色の枠で表示されています。再生したいデータがある日付を選択し、「次へ」をクリックします。

③　タイムライン検索画面で、再生したい時刻やチャンネルを選択し、「再生」をクリックすると再生が始まります。

5.3.1 タイムラインからデータを検索するには

タイムライン検索画面の構成は下図の通りです。



タイムライン検索画面の説明

	番号	説明
①	**録画日時**	録画された日付と時刻を表示します。
②	**タイムスケール**	スケールの上の赤いスライドノブをドラッグ＆ドロップすることで、再生を始めたい時点を選択します。最初に表示されるスケールは、3時間単位で24時間が表示されますが、 ボタンをクリックすることで、10分単位で60分を表示し、さらに選択範囲を絞ることができます。
③	**タイムライン**	各チャンネルの録画データをタイムラインで表示します。録画データのある時間帯は水色で表示されます。録画データに音声が含まれている時間帯は藍色で表示されます。
④		タイムスケールの目盛りの単位を変更します。クリックするごとタイムスケールの表示単位が24時間⇔60分に切換ります。
		タイムスケールの表示単位が60分の時、このボタンをクリックするごとに、現在表示中の時間より1時間前/先の時間帯を表示します。 ※　タイムスケールの表示単位が24時間の時は、動作しません。
⑤	チャンネル	再生したいチャンネルを選択します。「ALL」にマークをつけて「再生」ボタンをクリックすると、全てのチャンネルが分割画面で再生されます。

5.4 イベント検索

イベントの種類で録画データを検索することができます。

① 検索メニューで「イベント検索」を選択し、「次へ」をクリックするとカレンダーが表示されます。

② カレンダーに、録画データのある日付は青色で、現在の選択日付は黄色の枠で表示されています。再生したいデータがある日付を選択し、「次へ」をクリックします。

③ イベント検索画面で、チャンネルやイベントを指定すると表示されるログから、再生したい録画データを選び、「再生」をクリックすると再生が始まります。

5.4.1 イベント検索画面からデータを検索するには

イベント検索画面の構成は下図の通りです。

イベント検索画面の説明

番号		説明
①	**検索条件**	検索するチャンネルとイベントタイプを表示します。[...]をクリックすると表示される検索条件画面から、検索したいチャンネルやイベントのタイプにチェックを入れることで検索条件の指定ができます。検索したいチャンネルやイベントのタイプは、複数選択することができます。
②	**ログ**	指定した条件で検索されたログをリストで表示します。「チャンネル」、「ログ」、「日付」をクリックすることで、リストを各項目ごとに整列できます。
③	**ページ**	表示されたログリストのページを数字で表示します。ページが複数の場合、[< >]をクリックすると前/次のページを表示することができます。
④	バックアップ	検索されたログを、txt形式のファイルでUSBメモリーに保存します。USB端子にUSBメモリーを接続し、このボタンをクリックすると、保存画面が表示されます。

5.5 先頭映像検索

検索メニューで「先頭映像検索」を選択し、「再生」をクリックすると、HDDに保存されている一番古い録画データの再生が始まります。

5.6 最終映像検索

検索メニューで「最終映像検索」を選択し、「再生」をクリックすると、HDDに保存されている録画データから一番最新の1分間のデータの再生が始まります。

5.7 日時指定検索

検索メニューで「日時指定検索」を選択すると、検索したい録画データを年/月/日/時/分/秒で指定できるようになります。日時を設定し、「再生」をクリックすると、指定された日時のデータが再生されます。

5.8 キャプチャーリストの検索

ライブや再生画面の動画や静止画をキャプチャーしたログを検索することができます。

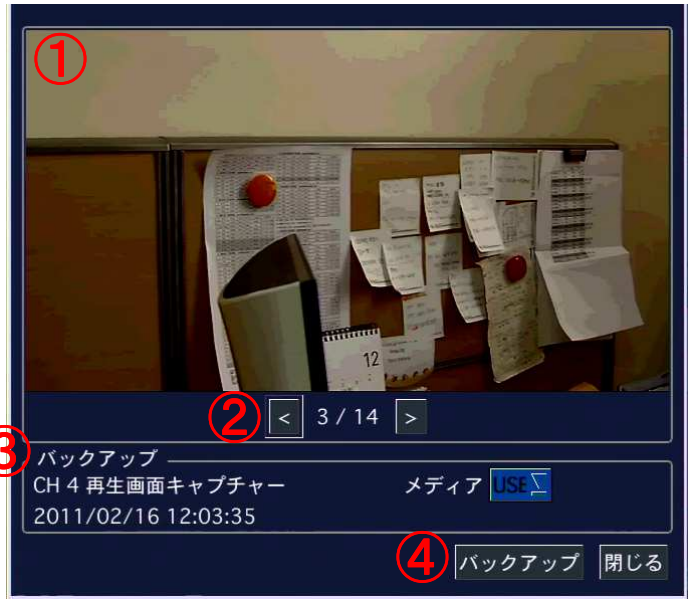
① 検索メニューで「キャプチャーリスト」を選択し、「次へ」をクリックするとカレンダーが表示されます。

② カレンダーに、キャプチャーデータのある日付は青色で、現在の選択日付は黄色の枠で表示されています。検索したいデータがある日付を選択し、「次へ」をクリックします。

③ 選択した日のキャプチャー記録がリストで表示されます。リストから画像を見たいログを選択し、「表示」をクリックすると、キャプチャー画像の確認やバックアップができます。

5.8.1 キャプチャー画像を確認・バックアップするには

キャプチャー画像の画面の構成は下図の通りです。



キャプチャー画像画面の説明

	番号	説明
①	**キャプチャー画像**	キャプチャーしたデータの静止画を表示します。
②	**ページ**	表示されたキャプチャーデータの番号を数字で表示します。キャプチャーデータが複数の場合、< >をクリックすると前/次のキャプチャー画像が表示できます。
③	**キャプチャー情報**	キャプチャー時の情報を表示します。キャプチャーチャンネル、バックアップ動画の長さ、録画データの日時、保存メディアなどの情報が確認できます。
④	バックアップ	表示されているキャプチャーデータをさらにバックアップすることができます。USB端子にUSBメモリーを接続し、このボタンをクリックすると、キャプチャーデータがUSBメモリーに保存されます。この時、動画のキャプチャーデータは動画で、静止画のキャプチャーデータは静止画で保存されます。

5.9 ログの検索

システムの動作・操作記録が閲覧できます。

① 検索メニューで「ログ」を選択し、「次へ」をクリックするとカレンダーが表示されます。

② カレンダーに、システムログのある日付は黄色で、現在の選択日付は黒で表示されています。検索したいログがある日付を選択し、「次へ」をクリックします。

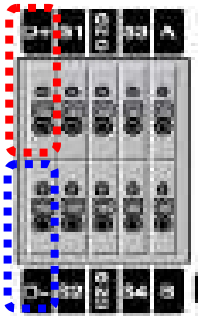
③ 選択した日のシステムログがリストで表示されます。USB端子にUSBメモリーを接続し、「保存」ボタンを

④ クリックすると、リストをtxt形式のファイルでUSBメモリーに保存することができます。

6. PTZカメラの操作

6.1 PTZカメラの基本操作

6.1.1 PTZカメラの接続と設定



① RS-485対応のPTZカメラを、DVRの後面パネルのRS-485ポートに接続します。

② 「デバイス」メニューの「PTZ」項目で、PTZの設定を行います。

※ 詳細は「3.4.2. PTZ設定」をご参照ください。

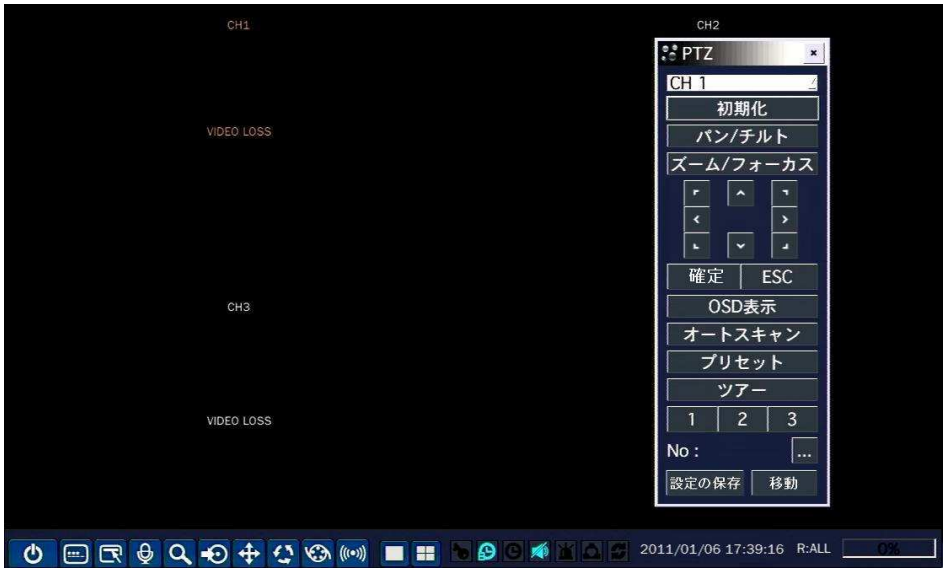
6.1.2 PTZ操作画面に入るには

① PTZ操作画面に入るには、以下のような方法があります。

- 前面パネルかリモコンの「PTZ」ボタンを押します。
- メイン画面の下部のタスクバーから のアイコンをクリックします。
- メイン画面からマウスの右ボタンをクリックし、表示されるポップアップメニューから「PTZ」をクリックします。

② ログイン画面が表示され、パスワードを入れると検索画面が表示されます。ログイン方法は設定画面に入る時と同じですので、「3.1.2 設定画面に入るには」をご参照ください。

6.2 PTZ操作画面



PTZコントロールパネルのボタンの説明

ボタン	説明
初期化	選択したカメラのPTZ設定を初期化します。
パン/チルト	パン/チルトをクリックし、右図のコントロールボタンをクリックすることで移動したい方向へ移動します。
ズーム/フォーカス	ズーム/フォーカスをクリックし、 / でズームIN/OUTを、 / でフォーカスNEAR/FARを調整します。

OSD表示	カメラのOSDをDVR画面に表示し、DVR側でカメラのメニューを設定することができます。 カメラOSDモードの操作には、下記のボタンを使用します。 [^][v][<][>] メニューの移動/設定値の変更 [確定] 下位メニューに入る/項目を選択する [ESC] 前画面に戻る/メニューを終了する
オートスキャン	操作の前に、カメラOSDからオートスキャン動作を設定してください。 [オートスキャン]をクリックし、数字ボタンでカメラOSDから設定したオートスキャン番号を入力し、[開始]をクリックすると、オートスキャン動作が始まります。 [停止]をクリックするとオートスキャンを中止します。
プリセット	パン/チルト動作で、表示したい場所にカメラを位置させ、[プリセット]をクリックし、数字ボタンをクリックして[設定の保存]をクリックすると、その時点のカメラ位置が保存されます。 ※　カメラ位置は0～99番まで保存できます。 数字ボタンをクリックして[移動]をクリックすると、その番号に保存されたカメラ位置へカメラが移動します。
ツアー	操作の前に、カメラOSDからツアーグループを設定してください。 [ツアー]をクリックし、数字ボタンでカメラOSDから設定したツアーグループの番号を入力し[開始]をクリックすると、ツアー動作が始まります。 [停止]をクリックするとツアー動作が中止されます。
数字ボタン	オートスキャン、プリセット、ツアーメニューで使用します。 3番以上の数字は、[…]をクリックして表示される入力表から入力できます。

7. バックアップ

7.1 ライブ映像のバックアップ

7.1.1 ライブ映像を静止画でバックアップするには

① ライブ映像のバックアップ画面を表示するには、以下のような方法があります。

- ライブ監視中に、前面パネルかリモコンの「BACKUP」ボタンを押します。
- メイン画面の下部のタスクバーから のアイコンをクリックします。
- メイン画面からマウスの右ボタンをクリックし、表示されるポップアップメニューから「バックアップ」をクリックします。

② この機種では、バックアップファイルを保存するメディアがUSBメモリーに指定されています。「バックアップ」をクリックすると、バックアップが開始され、プログレスゲージに進行状況が表示されます。

③ 「完了」というメッセージが表示されると、「閉じる」をクリックし、バックアップ作業を終了します。

④ バックアップされたライブ映像の静止画は、保存したメディアのバックアップ日の日付のフォルダーの中に保存されています。

7.2 再生映像のバックアップ

7.2.1 再生映像を静止画でバックアップするには

① 再生映像のバックアップ画面を表示するには、以下のような方法があります。

- 録画データの再生中に、前面パネルかリモコンの「BACKUP」ボタンを押します。
- 再生画面のコントロールパネルの のアイコンをクリックします。

② バックアップ画面が表示されると、保存する形式の選択肢の中で「静止画」にチェックを入れ、「次へ」をクリックしてください。

③ この機種では、バックアップファイルを保存するメディアがUSBメモリーに指定されています。「バックアップ」をクリックすると、バックアップが開始され、プログレスゲージに進行状況が表示されます。

④ 「完了」というメッセージが表示されると、「閉じる」をクリックし、バックアップ作業を終了します。

⑤ バックアップされた再生映像の静止画は、保存メディアの録画データの日付のフォルダーの中にJPEG形式で保存されています。

7.2.2 再生映像を動画でバックアップするには

① 再生映像のバックアップ画面を表示するには、以下のような方法があります。

- 録画データの再生中に、前面パネルかリモコンの「BACKUP」ボタンを押します。
- 再生画面のコントロールパネルの のアイコンをクリックします。

② 再生映像をバックアップする動画形式は、汎用再生ソフトウェアで再生できるAVI形式と、専用ソフトウェアで再生できる独自のh264ファイル形式の中で選択することができます。

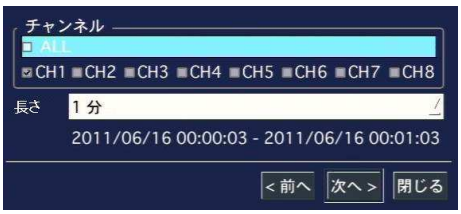
7.2.2.1 NSF動画バックアップ

DVRシステム独自の動画形式でバックアップし、専用ソフトで再生することで、データ管理のセキュリティーをさらに強化することができます。

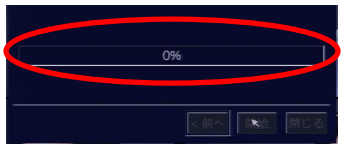
① バックアップ画面が表示された後、保存する形式の選択肢の中で「NSF」にチェックを入れ、「次へ」をクリックしてください。

② USBメモリーとUSB外付けHDDの中で、保存する装置のタイプにチェックを入れ、「次へ」をクリックしてください。外付けHDDを選択した場合、1時間単位の大容量バックアップを行うことができます。

③ 下図のような画面が表示されるので、バックアップチャンネル・バックアップ時間を設定します。
大容量バックアップの場合、バックアップ時間の指定範囲が1～24時間に変わります。
「チャンネル」項目でバックアップしたいチャンネルにチェックを入れ、「長さ」項目でバックアップしたいデータの長さを選択し、「次へ」をクリックしてください。



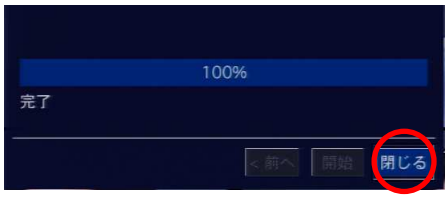
④ バックアップが開始されます。進行状況が表示されます。



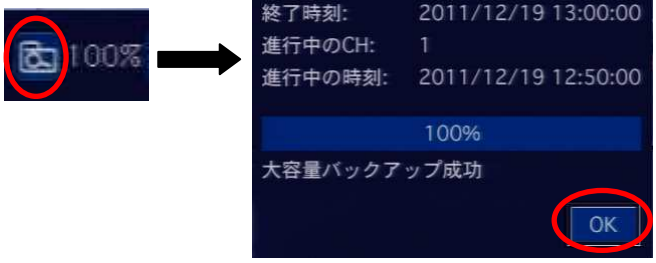
[USBメモリー選択時の表示]

[外付けHDD(大容量バックアップ)選択時の表示]

⑤ USBメモリー選択時は「完了」というメッセージが表示された後、「閉じる」をクリックし、保存装置を端子から取り外します。外付けHDD(大容量バックアップ)選択時はタスクバーのマークが「100%」と表示された後、マークをクリックし、「OK」をクリックし、保存装置を端子から取り外します。



[USBメモリー選択時の表示]



[外付けHDD(大容量バックアップ)選択時

⑥ バックアップされた再生映像の動画は、保存装置の録画データの日付のフォルダーの中に保存されています。

※大容量バックアップ時には、外付けHDDを背面のUSBポートに接続して下さい。

※外付けHDDはFAT32でフォーマットされたものを使用して下さい。

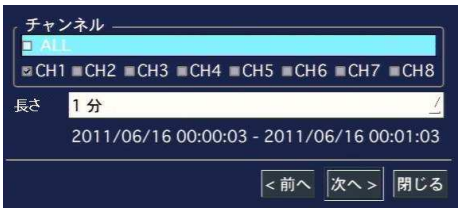
7.2.2.2 AVI動画バックアップ

Window Media Playerなど、汎用動画再生ソフトから再生できるAVI形式でバックアップすることで、バックアップデータを簡単に再生することができます。

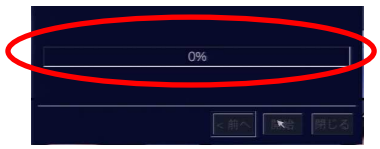
① バックアップ画面が表示された後、保存する形式の選択肢の中で「AVI – INTEGRATED SUBTITLE」にチェックを入れ、「次へ」をクリックしてください。

② 保存する装置のタイプの選択画面が表示されます。AVI動画の場合は、USBメモリー以外の選択しがありません。「次へ」をクリックしてください。

③ 下図のような画面が表示された後、バックアップチャンネル・バックアップ時間を設定します。
「チャンネル」項目でバックアップしたいチャンネルにチェックを入れ、「長さ」項目でバックアップしたいデータの長さを選択し、「次へ」をクリックしてください。



④　バックアップが開始され、進行状況が表示されます。



⑤　「完了」というメッセージが表示された後、「閉じる」をクリックし、保存装置を端子から取り外します。

⑥　バックアップされた再生映像の動画は、保存装置の録画データの日付のフォルダーの中に保存されています。

7.3 キャプチャーリストからのバックアップ

ライブ監視や再生中にバックアップした静止画や動画の記録は、「検索」メニューの「キャプチャーリスト」から検索し、さらにバックアップすることができます。

※ 詳細は「4.7.1 キャプチャー画像を確認・バックアップするには」をご参照ください。
大容量バックアップの場合は、外付けHDDに直接記録されるため、キャプチャーリストには記録されません。

7.4 動画バックアップファイルの再生

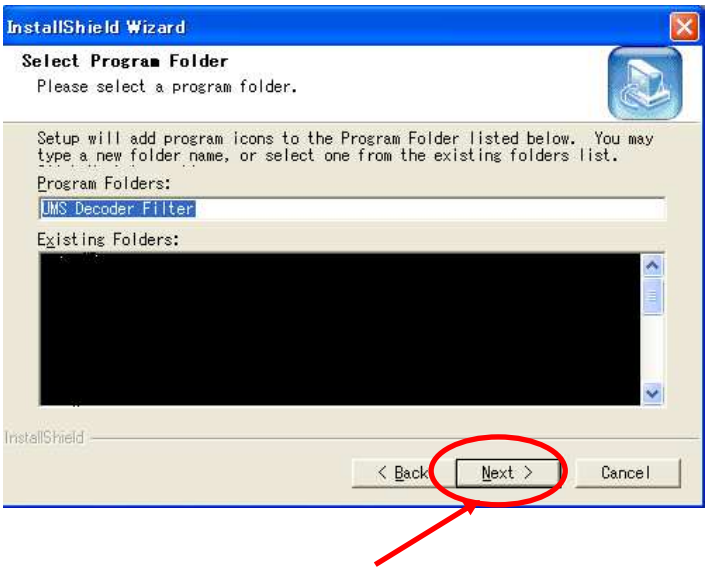
再生映像の動画バックアップ時、「NSF」を選択すると、バックアップファイルが「h264」の拡張子で保存されます。この時一緒に保存される「DvrPlayer」フォルダー内の「HDPlayer.exe」プログラムで、h264形式の動画ファイルを再生することができます。一方「AVI － INTEGRATED SUBTITLE」を選択すると、バックアップファイルが「avi」の拡張子で保存されます。

この時一緒に「DvrPlayer」フォルダー内には「UMSDecoderFilter.exe」プログラムが保存されます。

注意 ： h264形式は、NADATELの独自の動画ファイル形式であるため、汎用の動画再生ソフトウェアで再生することはできません。

注意 ：初めてAVI形式ファイルを再生するPCには、「DvrPlayer」フォルダー内の「UMSDecoderFilter.exe」をインストールする必要があります。初回にインストールすれば次の再生からはインストール不要です。（h264形式では不要です。）

UMSDecoderFilterをクリックします。


InstallShield Wizard
Select Program Folder
Please select a program folder.
Setup will add program icons to the Program Folder listed below. You may type a new folder name, or select one from the existing folders list.
Program Folders:
UMS Decoder Filter
Existing Folders:
InstallShield
< Back
Next >
Cancel

変更せずにそのまま「Next」をクリックします。

[UMSDecoderFilterインストール]

7.4.1 動画ファイルやフォルダーの生成

バックアップした動画ファイルとHD Playerは、USBメモリーや外付けHDDのフォルダーに保存されています。

その時、フォルダーやファイル名は下記のようにつけられます。

[NSF形式]

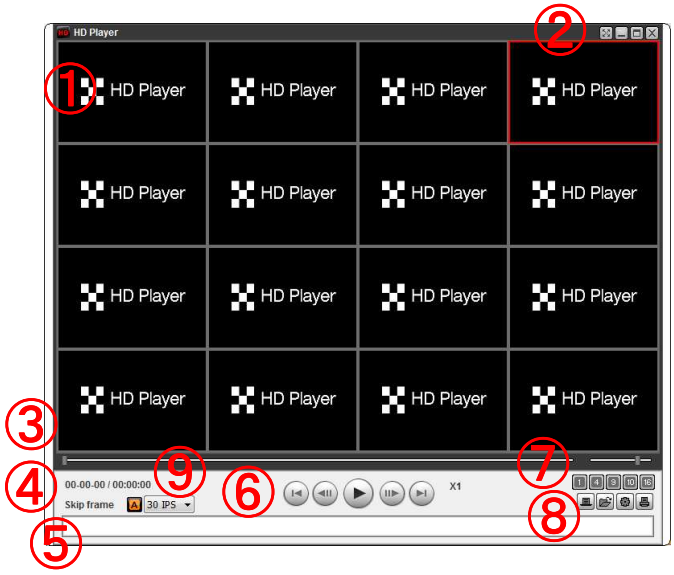
保存されるファイル	保存されるフォルダー	ファイル名
USBメモリーバックアップ	ドライブ¥yyyymmdd¥hhmmss	CH番号.h264
外付けHDD(大容量)バックアップ	ドライブ¥DVR¥yyyymmdd¥hhmm	CH番号.h264
HD Player	ドライブ¥DvrPlayer	HDPlayer.exe

[AVI形式]

保存されるファイル	保存されるフォルダー	ファイル名
USBメモリーバックアップ	ドライブ¥yyyymmdd¥hhmmss	CH番号.avi
HD Player	ドライブ¥DvrPlayer	UMSDecoderFilter.exe

7.4.2 HD Playerの構成

録画データをバックアップした動画ファイルは、一緒にバックアップされるHD PlayerでPCから再生することができます。



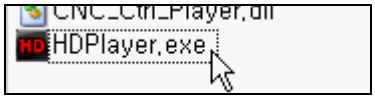
HD Playerの構成

	番号	説明
①	**画面表示部**	バックアップ映像が表示されます。 この部分をマウスで操作すると、画像のキャプチャーやデジタルズームなどができます。 ※ 詳細は「7.4.3.1. HD Playerで再生画面のキャプチャー」、「6.4.3.2. HD Playerで再生画面のデジタルズーム」をご参照ください。
②		HD Playerの画面表示部だけがフルスクリーンに表示します。フルスクリーン状態を解除するには、「ESC」ボタンをクリックしてください。
		HD Playerの画面を隠します。
		HD Playerの画面をフルスクリーンに表示します。
		HD Playerを終了します。
③	**タイムバー**	動画の再生時点をスライドノブで表示します。スライドノブをドラッグ&ドロップすることで、再生時点を移動することができます。
④	**録画時刻**	現在再生中の映像の録画された日付や時刻が表示されます。
⑤	**録画チャンネル**	現在再生中の映像のチャンネル番号が表示されます。
⑥		クリックするごとにボタンが に切換わります。 をクリックすると静止画を表示、 をクリックすると再生を再開します。
		早戻し/早送りします。クリックするごとに再生速度が2倍速→4倍速→2倍速･･･に変わります。 をクリックして静止画状態になると、 に切換ります。このボタンをクリックすると、1秒前/先の画像を表示します。
		現在再生中の時点より3秒前/先の映像にジャンプして再生します。
⑦		再生画面を分割画面で表示します。
⑧		再生したい動画のあるフォルダーを選択します。
		音声記録のある動画ファイルを再生します。

		設定画面を表示します。設定画面では、キャプチャー画像の保存フォルダーの指定や、バージョン情報の確認などができます。
⑨		「A」マークがオレンジ色で表示されている場合は、PCスペックに合わせて自動で再生フレームレートを調整します。 「A」マークが灰色で表示されている場合は、右のフレームレートで再生されます。 本設定は、全チャンネルに適用されます。

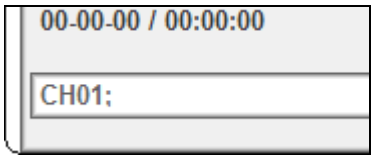
7.4.3 動画バックアップファイルの再生

① HDPlayer.exeファイルをダブルクリックし、HD Playerを立ち上げます。



② をクリックし、再生したいh264ファイルのあるフォルダーを選択します。

③ チャンネル欄にチャンネル名が表示されることを確認し、 をクリックします。



④ データの日時情報が表示され、再生が始まります。

7.4.3.1 HD Playerで再生画面のキャプチャー

HD Playerで再生中の動画の画像を、静止画で保存することができます。

① 動画の画面が表示されている画面表示部をマウスの右ボタンでクリックすると、ポップアップメニューが表示されます。

② ポップアップメニューの「Capture」をクリックすると、表示中の画像がPCのハードディスクにJPEGで保存されます。

③ ポップアップメニューの「About」をクリックすると、Setupメニューが表示され、キャプチャーする静止画の保存場所を指定することができます。

7.4.3.2 HD Playerで再生画面のデジタルズーム

HD Playerで再生中の動画の画像を、デジタルズームアップすることができます。

① 動画の画面が表示されている画面表示部にカーソルを位置させ、マウスのホイルを上へスクロールすると画像がズームイン、下へスクロールすると画像がズームアウトされます。

② この時、画面表示部の左下にはミニ画面が表示されます。ミニ画面の赤い枠は、画面表示部に現在表示中の領域を示します。

③ マウスの左ボタンで画面をクリックしてドラッグすることで、ズーム表示領域の位置を移動させることができます。

[左下にミニ画面が表示] **[ホイールでズームイン]** **[ドラッグで表示移動]**

8. 遠隔で操作するには

付属のクライアントソフトを使うと、DVRの画像をパソコンの画面から見ることができます。

注意 ： 帯域幅が大きい場合は、1台のDVRに同時に接続できるPCの台数は4台までです。
帯域幅が小さい場合は、1台のDVRに接続するPCの台数は1台にすることをお勧めします。

注意 ： ルーターを通じてインターネットに接続している場合、ルーターからのポートの開放(Port Forwarding)が必要です。
DVR本体のネットワークメニューに設定されている基本ポート以外に、PCにマイクを接続し、DVRとの双方向オーディオ機能を使用したい場合は、基本ポート+1のポートをオープンしてください。
尚、WebクライアントやUMSクライアントからの遠隔設定を行いたい場合は、Webポートをオープンしてください。
(設定例)DVR本体のネットワークメニューに入力したポート番号が5445の場合、ルーターから5445/5446の2つのポートや、Webポートの80をオープンして使用します。

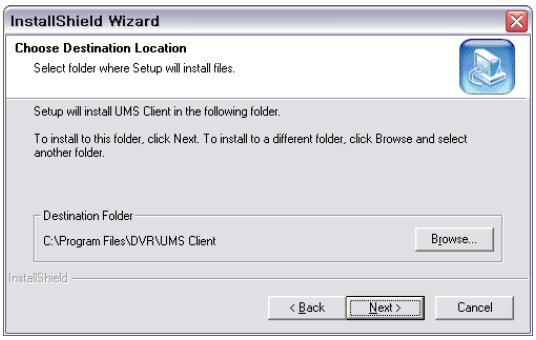
8.1 UMSクライアントソフトの動作環境

- CPU ： Intel Pentium Ⅳ 1.4Ghz以上
- メモリー ： 512MB (推奨 ： 1GB以上)
- VGA ： 64MB (推奨 ： 128MB以上)
- 解像度 ： 1024x768
- O/S ： Windows 2000/ XP Professional/ XP home
- Direct X ： DirectX 9以上

8.2 UMSクライアントソフトのインストール

① 付属のCD-ROMをPCのドライブにセットして、「UMSClient_3.*.*.*_yymmdd.exe／UMSMClient_3.*.*.*_yymmdd.exe」をダブルクリックすると、インストーラーが起動します。

② 「Choose Destination Location」画面でインストール先のフォルダーを確認して「Next」をクリックします。
インストール先のフォルダーを変更する場合は、「Browse」をクリックしてフォルダーを選択してください。


InstallShield Wizard
Choose Destination Location
Select folder where Setup will install files.
Setup will install UMS Client in the following folder.
To install to this folder, click Next. To install to a different folder, click Browse and select another folder.
Destination Folder
C:\Program Files\DVR\UMS Client
Browse...
InstallShield
< Back
Next >
Cancel

③ 「Select Program Folder」画面でプログラムフォルダーを確認して「Next」をクリックします。
プログラムフォルダーを変更する場合は、ボックスに直接入力するか、あるいは「Existing Folders」のリストから選択してください。

④ インストールが開始され、「Setup Status」画面にインストールの進行状況が表示されます。

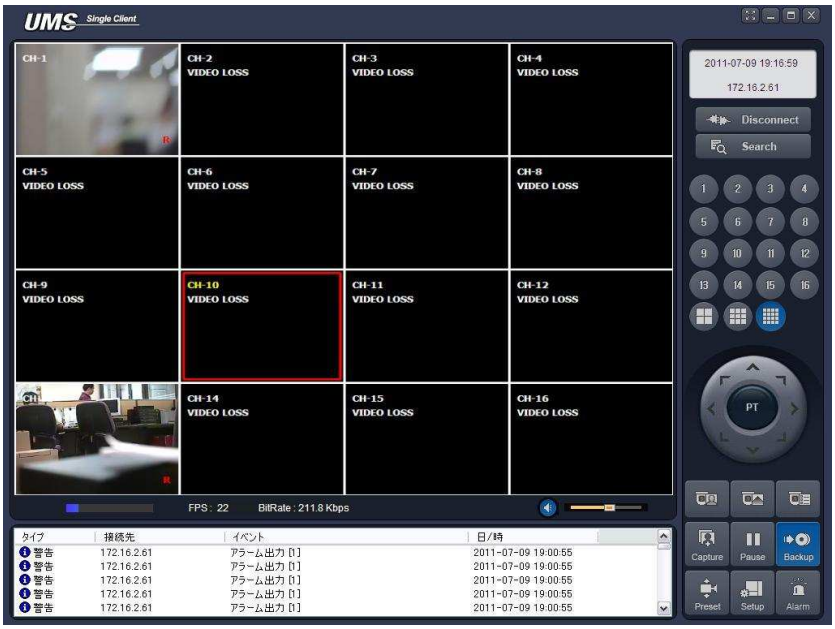
⑤ インストールが終了すると、右図のような「UMS Client／UMS Multi Client」のショートカットアイコンがデスクトップに表示されます。

⑥ アイコンをクリックすると、クライアントソフトが立ち上がります。

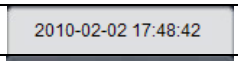
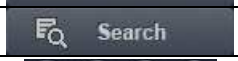
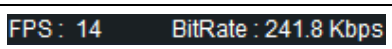
8.3 UMSクライアントの使用

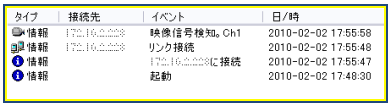
遠隔地にあるDVRのカメラ映像を、PCから監視・再生することができます。

8.3.1 ライブモードの構成と各部のはたらき



メイン画面のコントロールボタン

ボタン	名前	説明
	画面表示部	DVRに接続されているカメラのライブ映像を表示します。各チャンネルをマウスでドラッグ &ドロップすることで、チャンネルの位置を変更することができます。1画面表示状態では、マウスのホイールを利用してデジタルズームができるようになります。
	**日時情報**	現在の日時を表示します。
	接続/切断	ネットワーク状態を接続/切断にします。
	**検索**	ライブモードを検索モードに切り換えます。
	チャンネル表示	選択チャンネルを1画面で表示するか、マルチ画面で表示します。
	パン/チルト **ズーム/フォーカス**	PTZカメラのパン/チルト/ズーム/フォーカスを調節します。 中央のボタンをクリックするごとにパン/チルト↔ズーム/フォーカスモードに切換わります。
	スキャン	PTZカメラのスキャン動作を行います。
	ツアー	PTZカメラのツアー動作を行います。
	カメラOSD	カメラのOSDメニューをUMSの映像表示部に表示します。
	キャプチャー	ライブ画像を静止画で保存します。 このボタンをクリックするとキャプチャー画面が表示され、ライブ画面をbmpかjpg形式の静止画で保存することができます。キャプチャーファイルの保存先はC:¥Storage¥Captureがデフォルトに設定されています。
	再生/停止	ライブ画像を再生/一時停止させます。
	録画ON	ライブ画像をパソコンのハードディスクに保存します。
	プリセット	PTZカメラのプリセットの設定を行います。
	セットアップ	クライアントの設定画面を表示します。
	アラーム	DVR側にアラームを発生させます。
	HDD容量	DVRのHDDの使用容量を表示します。
	**ネットワーク状況**	ネットワークの伝送フレーム数や帯域幅を表示します。

	ボリューム	出力音量を調整します。 スピーカーのアイコンをクリックするとこで音声出力を入/切にすることもできます。
	**ログウィンドウ**	操作履歴を表示します。

8.3.1.1 UMSクライアントのデジタルズーム機能

DVR本体と同様、UMSクライアントでもライブ画面のデジタルズームが可能です。

① UMSクライアントの画面表示部にカーソルを位置させると、画面表示部の左下にミニ画面が表示されます。

② マウスのホイールのスクロール操作により、画面表示部に表示される画像がズームイン・アウトされます。ミニ画面の赤い枠は、画面表示部に現在表示されている領域を示します。

③ マウスの左ボタンで画面をドラッグすることで、ズーム表示の位置を移動させることができます。

[左下にミニ画面が表示] **[ホイールでズームイン]** **[ドラッグで表示移動]**

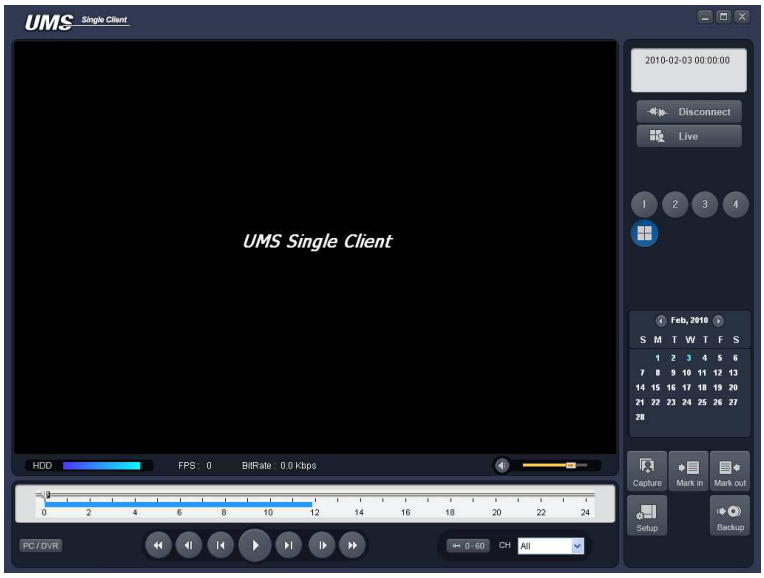
※ 再生画面も同じ方法でズームすることができます。

8.3.1.2 双方向オーディオ

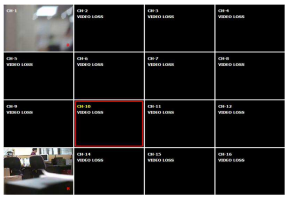
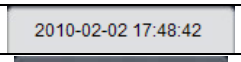
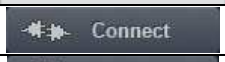
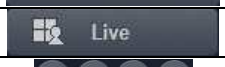
UMSクライアント側とDVR側の双方向オーディオ通信ができます。

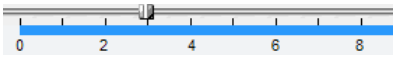
- PC(UMSクライアント)側 ： マイクやスピーカーに対応するサウンドカードが必要です。
- DVR側 ： マイクを音声入力端子に接続し、スピーカーを音声出力端子に接続します。

8.3.2 検索モードの構成と各部のはたらき



検索画面のコントロールボタン

ボタン	名前	説明
	**画面表示部**	再生映像を表示します。 各チャンネルをマウスでドラッグ &ドロップすることで、チャンネルの位置を変更することができます。 1画面表示状態では、マウスのホイールを利用してデジタルズームができるようになります。
	**日時情報**	再生中の映像の録画日時を表示します。
	**接続/切断**	ネットワーク状態を接続/切断にします。
	**検索**	検索モードをライブモードに切り換えます。
	チャンネル表示	選択チャンネルを1画面で表示するか、マルチ画面で表示します。
	カレンダー	再生したい映像の日付を選択します。 録画データのある日付は水色に表示されます。
	キャプチャー	再生画像を静止画で保存します。 このボタンをクリックするとキャプチャー画面が表示され、再生画面をbmpかjpg形式の静止画で保存することができます。
	開始点	再生映像からバックアップしたい区間の開始点を指定します。
	終了点	再生映像からバックアップしたい区間の終了点を指定します。

	バックアップ	DVRかパソコンのハードディスクに保存されている録画映像をAVI形式でバックアップします。
	**タイムラインバ**	24時間か60分を表示するタイムラインです。データのある区間は水色のラインで表示されます。スライドノブをドラック&ドロップすることで再生したい時刻に移動できます。
	PC/DVR	パソコンのハードディスクに保存されているデータを再生するか、DVRのハードディスクに保存されているデータを再生するかを選択します。
	再生/一時停止	録画映像を再生/一時停止します。 タイムラインの上で再生したい時刻を選択し、このボタンをクリックすると再生がはじまります。
	1フレームずつ再生	録画映像の一時停止状態からクリックするごとに1フレームずつ再生されます。
	1分ずつ再生	クリックするごとに1分先/前の映像にスキップされます。
	早戻し/早送り	再生中の映像を早戻し/早送りします。
	時間単位表示/分単位表示	クリックするごとにタイムラインが選択した日の24時間の表示/選択した時間の60分間の表示に切り換わります。

8.3.2.1 動画のバックアップ

DVRかパソコンのハードディスクに保存されている録画データを動画ファイルでバックアップすることができます。

① PC / DVR ボタンでパソコンのハードディスクに保存されているデータを再生するか、DVRのハードディスクに保存されているデータを再生するかを選択します。

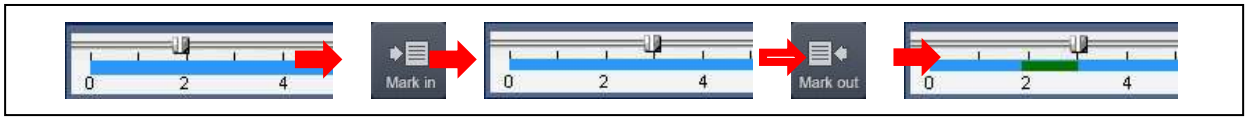
－PCのデータを再生： UMSクライアントでライブ画面の監視中に、Backup ボタンをクリックしてパソコンのハードディスクに保存しておいたデータを再生できます。

－DVRのデータを再生： DVRの録画設定により、DVRのハードディスクに保存されている録画データをネットワークを通じて再生できます。

② タイムラインのスライドノブをドラック&ドロップしてバックアップしたいデータの先頭時刻に位置させ、Mark in ボタンをクリックすると、選択時点がバックアップの開始点として指定されます。

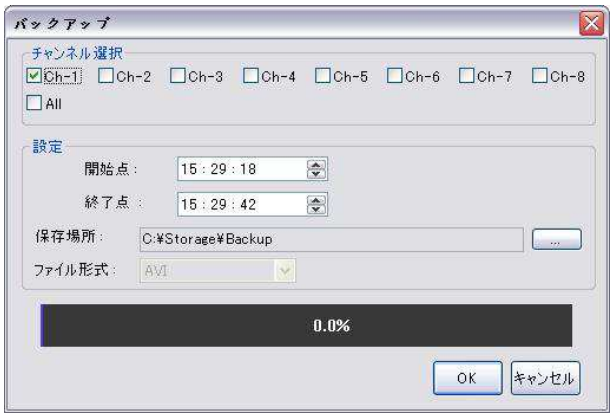
③ スライドノブを再度ドラック&ドロップして開始点より後の時刻に位置させ、Mark out ボタンをクリックすると、

選択時点がバックアップの終了点として指定され、開始点と終了点の間の区間が緑色に変わります。



④ バックアップする区間が緑色で指定された状態で、

ボタンをクリックすると、バックアップのダイアログ画面が表示されます。



- チャンネル選択 ： バックアップするチャンネルを選択します。
- 開始点/終了点 ： バックアップする時間を再指定することができます。
- 保存場所 ： バックアップファイルが保存されるフォルダーを指定します。デフォルトは C:¥Storage¥Backupになっています。
- ファイル形式 ： AVIファイル形式で保存されることになります。

⑤ バックアップ設定を終え、「OK」ボタンをクリックすると、プログレスゲージに進行状況が表示され、バックアップがはじまります。

8.3.3 設定のしかた

ボタンをクリックし、UMSクライアントの設定を変更・確認します。

一般設定

パスワード設定 ： 各操作項目にチェックを入れると、その操作を行う時にパスワードが必要になります。「パスワード」ボタンをクリックするとパスワードを設定することができます。

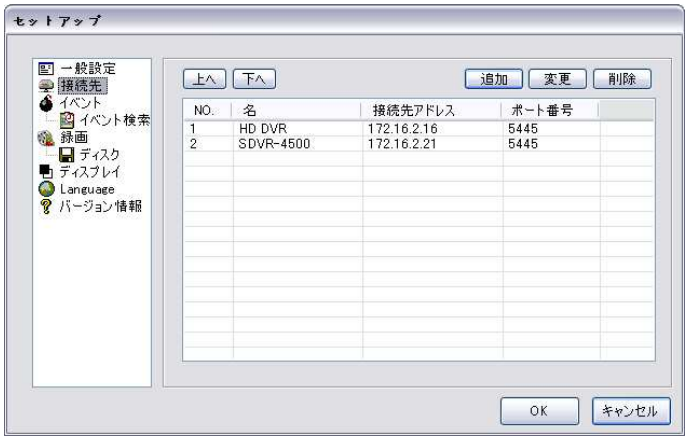
保存場所 ： キャプチャーした静止画か、バックアップした動画のファイルを保存するフォルダを指定します。

ネットワーク状態 ： ライブモードで、FPSやBitRateなどのネットワークのステータスを表示します。

自動再接続 ： 何らかの原因でネットワークが切断された時、自動的に再接続を行います。

日付の形式 ： 日付の表示形式を選択します。

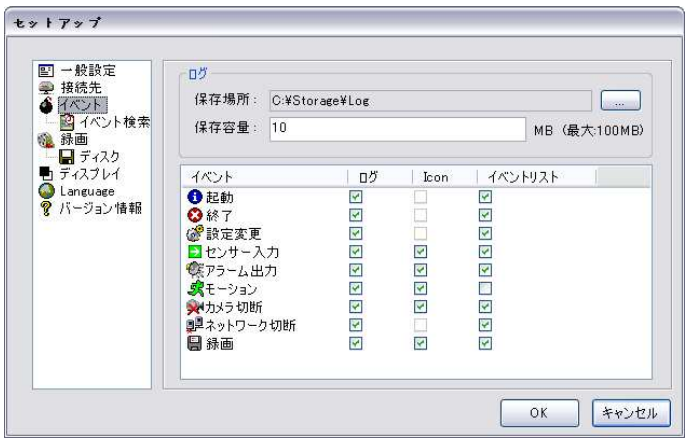
接続先



接続したいDVRのSite名、IPアドレス、ポート番号、パスワードを登録し、UMSクライアントから接続することができます。

接続先の登録数には制限がなく、すでに登録されている接続先の情報を変更・削除することもできます。

イベント



ログ ： UMSクライアントでイベントが発生したログのリストを保存するフォルダと制限容量を設定します。

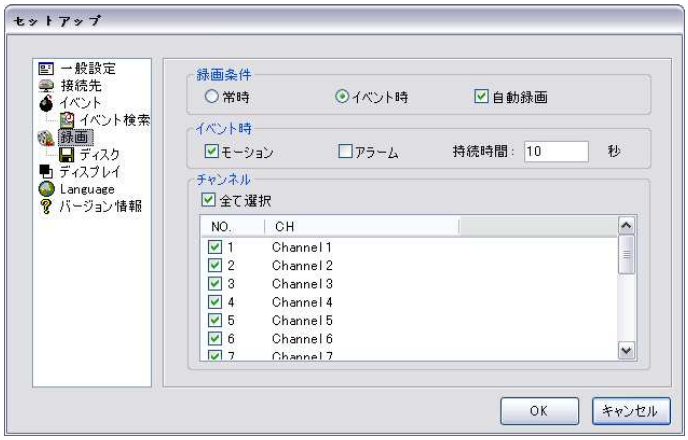
イベント設定 ： 各イベント項目にチェックを入れ、そのイベントが発生した時にログリストに記録するか/ライブ画面にアイコンを表示するか/ライブ画面の下部のログウィンドウに表示するかを設定します。

イベント検索

イベントの発生記録を検索したい日時範囲を指定し、「検索」ボタンをクリックすると、指定範囲内に発生したイベントのリストが表示されます。保存記録の最初から検索したい場合は「先頭」に、保存記録の最後まで検索したい場合は「最終」にチェックを入れてください。

録画

UMSクライアントでライブ画面を録画する時の条件、イベントの種類、チャンネルなどを設定します。



ディスク

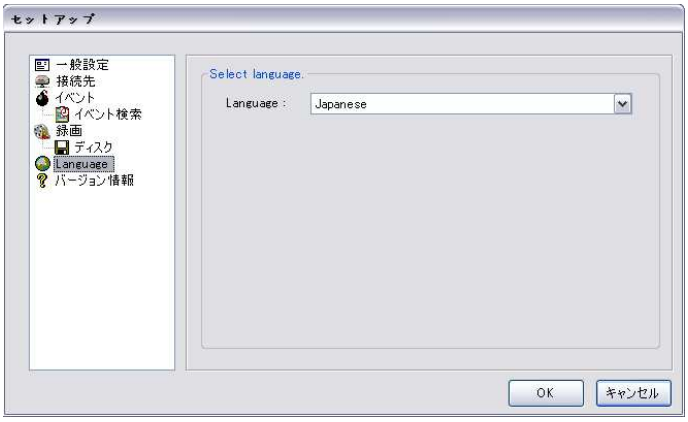
UMSクライアントでライブ画面を録画したデータを保存するパソコンのディスクと、データの最大容量を指定します。

ディスプレイ

複数のモニターを使用するPCで、セカンダリーモニターのUMS映像に乱れが発生すると、このチェックボックスにチェックを入れます。

言語

UMSクライアントは多言語に対応しています。使用する言語を変更すると、一度プログラムを終了してから再度立ち上げた時から適用されます。



8.3.4 ポップアップメニュー

UMSクライアント画面の上にカーソルを位置させ、マウスの右ボタンをクリックすると、ポップアップメニューが表示されます。

接続・切断

接続先に接続するか、接続を切断します。

マイクON

PCに接続されているマイクを利用し、DVRが設置されている現場に音声を送ることができます。

フルスクリーン

UMSクライアントの画面表示部だけをフルスクリーンで表示します。

フルスクリーン表示を解除する時は、PCの「ESC」ボタンを押します。

セットアップ

UMSクライアントの設定を行います。

※　詳細は、「8.3.3. 設定のしかた」

ロック

クリックすると、パスワード入力のダイアログが表示されます。パスワードを入力すると、画面表示部のマウス右クリック以　外は操作できなくなります。

ロックの解除は同じ手順で行います。

※　ロック設定・解除に入力するパスワードは、セットアップのパスワード設定とは関係なく、4～8桁の臨時のものを使います。

終了

UMSクライアントソフトを終了します。

8.4 UMSマルチクライアントの使用

遠隔地にある複数のDVRのカメラ映像を、PCから監視・再生することができます。

8.4.1 接続のしかた

8.4.1.1 接続先の登録

UMSマルチクライアントからDVRに接続するには、接続したいDVRの情報をあらかじめ登録しておく必要があります。

① 左側の操作パネルの上部にあるアイコンをクリックします。

② 「接続先追加」画面が表示されると、接続に必要なアドレス情報などを入力します。

- モデル: 接続するDVRのモデル群を選択します。
- 接続先名: DVRに、管理者用の名称をつけてください。
- 接続先アドレス: DVRのシステム情報に表示されているIPアドレスを入力します。
- ポート番号: DVRのネットワークメニューで設定したポート番号を入力します。
- ID: 接続するユーザータイプを入力します。管理者の場合、「admin」と入力します。
- パスワード: DVRの「セキュリティー」メニューで設定したネットワーク用のパスワードを入力します。

③ 「OK」をクリックすると、接続先が登録され、リストに表示されます。

※ 登録可能な接続先の数は、制限されておりません。

8.4.1.2 接続先への接続

① 接続先リストから、接続したい接続先のチェックボックスにチェックを入れます。 チェックは複数選択可能です。同時に接続できる接続先の数は、16ヶ所です。

② ボタンをクリックすると、チェックされた接続先に接続され ます。

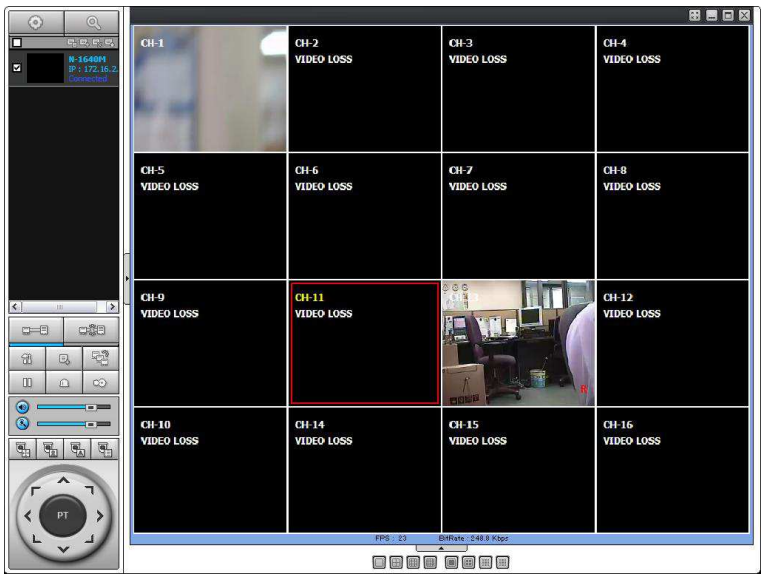
8.4.1.3 接続の切断

① 接続先リストから、接続を切断したい接続先のチェックボックスにチェックを入れます。 チェックは16つまで複数選択可能です。

② ボタンをクリックすると、チェックされた接続先の接続が切断されます。

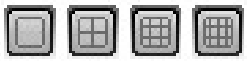
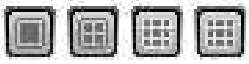
8.4.2 ライブモードの構成と各部のはたらき

UMSクライアントを立ち上げると、最初に表示される画面です。ライブ映像の監視や設定ができます。



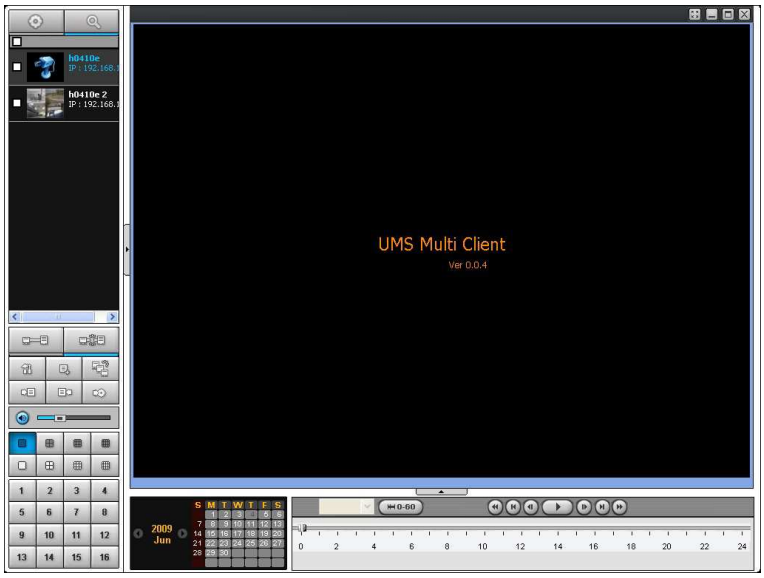
ライブ画面のコントロールボタン

ボタン	機能
	パソコンのハードディスクに保存された動画を再生します。 クリックすると、再生画面が表示されます。
	DVRのハードディスクに保存された動画を再生します。 クリックすると、再生画面が表示されます。
	使用者が登録した全ての接続先のリストを表示します。 接続中の接続先は、「Connected」と表示されます。 サムネール更新： 接続中の接続先のサムネールを更新します。 接続先追加： 接続先リストに、新しい接続先を登録します。 接続先削除： ハイライトされている接続先をリストから削除します。接続中の接続先は削除できません。 ネット検索： 登録されている接続先のリスト表示され、接続先の追加・削除・変更することがします。
	接続先リストにチェックされている全ての接続先に接続します。
	接続先リストにチェックされている全ての接続先の接続を切断します。
	セットアップ ： UMSマルチクライアントの全般的な設定を行います。 詳細は「8.4.4. セットアップのしかた」をご参照ください。
	キャプチャー ： ライブ画面を静止画でキャプチャーします。
	イベントリスト ： プログラム起動時から終了までのイベントログの閲覧画面が表示されます。
	一時静止 ： ライブ画面を静止画に表示/解除します。

	アラームON/アラームOFF ： DVR側に接続してあるアラームを出力開始/中止させます。
	録画ON/録画OFF ： ライブ画像をパソコンのハードディスクに保存開始/中止します。
	ライブ映像の出力音量を調整します。 をクリックすると音声出力の入/切が切換わります。
	マイクの出力音量を調整します。 をクリックすると音声出力の入/切が切換わります。
	DVRに接続中のPTZカメラのプリセット動作を行います。 クリックすると、コントロールボタンがプリセットモードに切換ります。
	DVRに接続中のPTZカメラのツアー動作を行います。 クリックすると、コントロールボタンがツアーモードに切換ります。
	DVRに接続中のPTZカメラのスキャン動作を行います。 クリックすると、コントロールボタンがスキャンモードに切換ります。
	DVRに接続中のカメラのOSDメニューを表示します。 クリックすると、コントロールボタンがカメラOSDモードに切換ります。
	コントロールボタン ： DVRに接続中のPTZカメラに対して、パン/チルト/ズーム/フォーカス/プリセット/ツアー/スキャン/カメラOSD操作の制御を行います。
	UMS画面をフルスクリーン表示/最小化/最大化/終了することができます。 フルスクリーン表示から元の状態に戻すためには、ESCボタンをクリックしてください。
	DVRに接続されているカメラのライブ映像を表示します。 各チャンネルをマウスでドラッグ＆ドロップすることで、チャンネルの位置を変更することができます。 1画面表示状態では、マウスのホイールを利用してデジタルズームができるようになります。 をクリックすることで、画面表示部の下の分割ボタンを表示/非表示することができます。
	チャンネル分割 ： ハイライトされた接続先の映像を1画面/4画面/9画面/16画で表示します。
	接続先分割 ： 画面に表示する接続先の数を選択します。 1ヶ所/4ヶ所/9ヶ所/16ヶ所で表示できます。

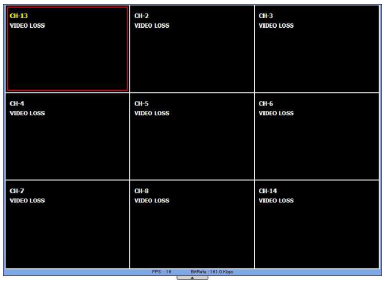
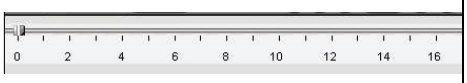
8.4.3 検索モードの構成と各部のはたらき

操作パネルの一番上の「パソコンの保存データを再生」/「DVRの保存データを再生」ボタンをクリックすると、再生モードの画面が表示されます。使用者のパソコンのハードディスクに保存した映像や、遠隔地のDVRのハードディスクに保存されている映像を再生することができます。



検索画面のコントロールボタン

ボタン	機能
	パソコンのハードディスクに保存された動画を再生します。
	DVRのハードディスクに保存された動画を再生します。
	使用者が登録した全ての接続先のリストを表示します。 DVRのハードディスクに保存されている動画を検査する時、検索中の接続先は「Remote PB」と表示されます。
	接続先リストにチェックされている全ての接続先に接続します。
	接続先リストにチェックされている全ての接続先の接続を切断します。
	セットアップ ： UMSマルチクライアントの全般的な設定を行います。 セットアップ画面は、ライブモードの画面に表示されます。
	キャプチャー ： 再生画面を静止画でキャプチャーします。
	イベントリスト ： プログラム起動時から終了までのイベントログが閲覧できます。
	開始点 ： 動画でバックアップしたい再生映像の開始点を指定します。

	終了点 ： 動画でバックアップしたい再生映像の終了点を指定します。
	バックアップ ： 指定した映像の範囲を動画でバックアップすることができます。
	再生映像の出力音量を調整します。 をクリックすると音声出力の入/切が切換わります。
	接続先分割 ： 画面に表示する接続先の数を選択します。 1ヶ所/4ヶ所/9ヶ所/16ヶ所で表示できます。
	チャンネル分割 ： ハイライトされた接続先の映像を1画面/4画面/9画面/16画で表示します。
	チャンネル選択 ： 1画面で表示したいチャンネルを選択します。
	再生映像を表示します。 各チャンネルをマウスでドラッグ＆ドロップすることで、チャンネルの位置を変更することができます。 1画面表示状態では、マウスのホイールを利用してデジタルズームができるようになります。 映像表示部の下部には、伝送中のフレームレートやビットレートが表示されます。 をクリックすることで、画面表示部の下のカレンダー、再生操作ボタン、タイムラインを表示/非表示することができます。
	カレンダーから、データを再生したい日付を選択します。 をクリックすると前月、 をクリックすると次月に切換わります。 録画データのある日付はオレンジ色、選択された日付は水色に表示されます。
	データを検索したいチャンネルを選択します。 選択したチャンネルの保存データがタイムライン上に表示されます。
	タイムラインの目盛りの単位を切換えます。 をクリックすると、選択した日付のデータが24時間で表示されます。 をクリックすると、1時間分のデータが60分で表示されます。
	再生画面を操作するボタンです。 再生/一時静止/早送り/早戻し/1分スキップなどの操作ができます。
	1日または1時間をタイムラインで表示します。 録画データのある時間帯は、タイムライン上に水色の線で表示されます。

8.4.3.1 再生のしかた

DVRやパソコンのハードディスクに保存されている録画データを検索して再生することができます。

① ライブ画面の操作パネルから、パソコンのハードディスクに保存されているデータを再生したい場合は を、DVRのハードディスクに保存されているデータを再生したい場合は をクリックします。

② 接続先リストから、データを検索したい接続先のチェックボックスにチェックを入れ、 をクリックします。

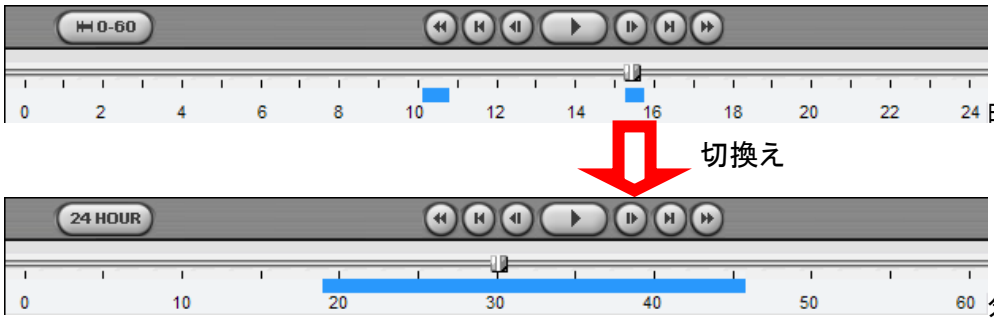
※ パソコンのハードディスクのデータを検索する時は、この作業を行う必要はありません。

③ カレンダーからデータを検索したい日付をクリックします。録画データのある日付はオレンジ色に、選択された日付は水色に表示されます。

④ 選択された日の録画データをタイムラインから確認します。録画データのある時間帯はタイムライン上で水色の線で表示されます。

⑤ タイムラインの上のスライドノブをドラック＆ドロップするか、あるいはタイムライン上をクリックすることで再生を開始するポイントを指定します。

タイムラインの目盛りを「24時間」から「60分」に切換えると、再生の開始ポイントがさらに正確に指定できます。



⑥ をクリックすると、再生がはじまります。

再生中のコントロールボタンは、以下のようなものがあります。

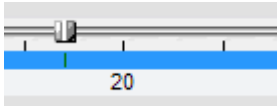
ボタン	機能
	再生/一時静止 クリックするごとに映像の再生、静止画の表示状態に切換わります。
	早送り/早戻し クリックするごとに再生速度がx1、x2、x4、x8、x16に切換わります。
	1分スキップ 現在の再生ポイントから1分前･先にジャンプして再生します。
	コマ送り クリックするごとに前･先の画像を1フレームずつ表示します。

8.4.3.2 動画のバックアップ

DVRやパソコンのハードディスクに保存されている録画データを動画でバックアップすることができます。

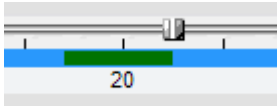
① タイムラインで、録画データのある時間帯を確認します。

② スライドノブをバックアップしたいデータの範囲の開始点に移動して、 ボタンをクリックします。



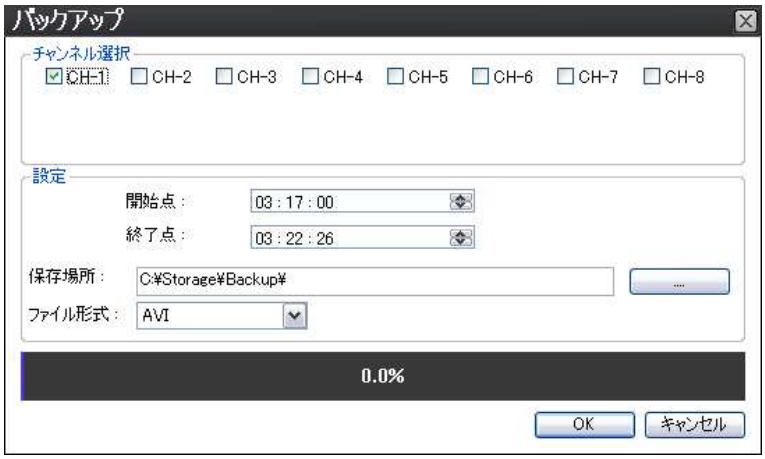
指定された開始点に濃い緑色の線が表示されます。

③ スライドノブをバックアップしたいデータの範囲の終了点に移動して、 ボタンをクリックします。



指定した開始点から終了点までの範囲が濃い緑色の線で表示されます。

④ ボタンをクリックすると、バックアップ画面が表示されます。



⑤ バックアップ画面で設定を行います。

- チャンネル選択 ： バックアップしたいチャンネルを選択します。
- 開始点 ： 指定したバックアップ範囲の開始点をさらに変更できます。
- 終了点 ： 指定したバックアップ範囲の終了点をさらに変更できます。
- 保存場所 ： バックアップした動画を保存する場所を指定します。

※ セットアップメニューの一般設定でも指定できます。

⑥ 「OK」をクリックすると、バックアップが始まり、プログレスゲージに進行状況が表示されます。

⑦ バックアップされたファイル名は[チャンネル番号＋録画時刻＋ファイルの形式]で保存されます。

例）

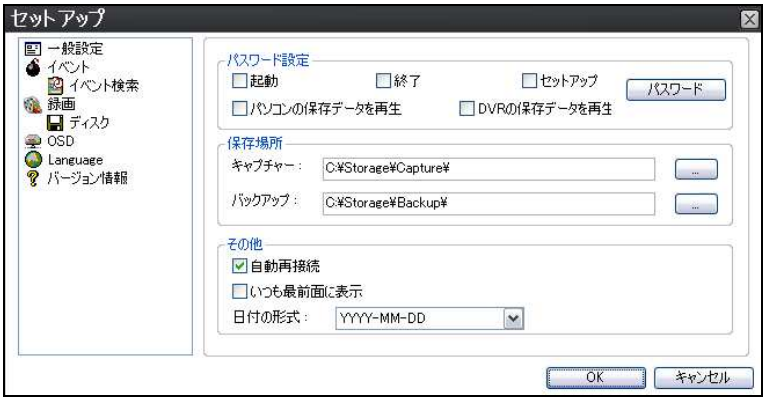
[CH04]04_11_58.avi ＝ 4番チャンネルの4時11分58秒からの録画映像の動画ファイル

⑧ AVI形式で保存された動画ファイルは、Windows Media Playerなど、AVI対応の汎用の映像再生ソフトで再生できます。

8.4.4 セットアップのしかた

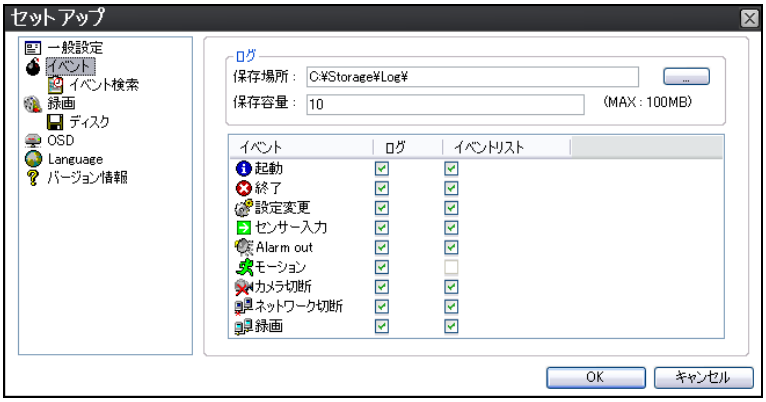
ボタンをクリックするとセットアップ画面が表示され、UMSマルチクライアントの設定が変更・確認できます。

一般設定



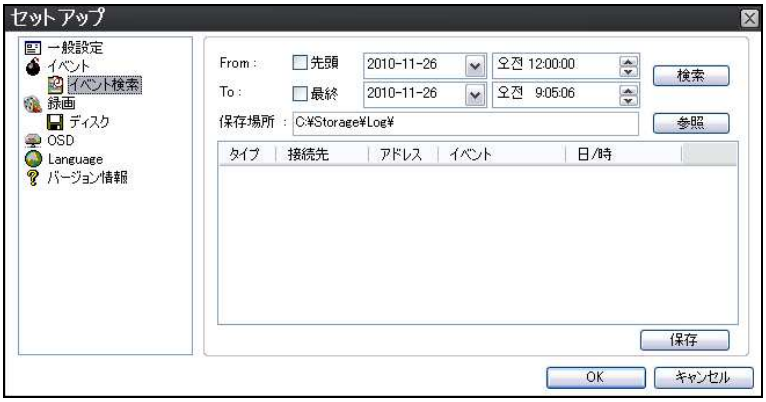
- パスワード設定 ： 各操作項目にチェックを入れると、その操作を行う時にパスワードが必要になります。「パスワード」ボタンをクリックするとパスワードを設定することができます。
- 保存場所 ： キャプチャーした静止画か、バックアップした動画ファイルを保存するフォルダを指定します。
- 自動再接続 ： 何らかの原因でネットワークが切断された時、自動的に再接続を行います。
- いつも最善面に表示 ： 他のウィンドウを重ねてもUMSマルチクライアント画面が隠されないようになります。
- 日付の形式 ： 日付の表示形式を選択します。

イベント



- ログ ： UMSマルチクライアントでイベントが発生したログのリストを保存するフォルダと制限容量を設定します。
- イベント設定 ： 各イベント項目にチェックを入れ、そのイベントが発生した時にログリストに記録するか/ライブ画面にアイコンを表示するか/ライブ画面の下部のログウィンドウに表示するかを設定します。

イベント検索

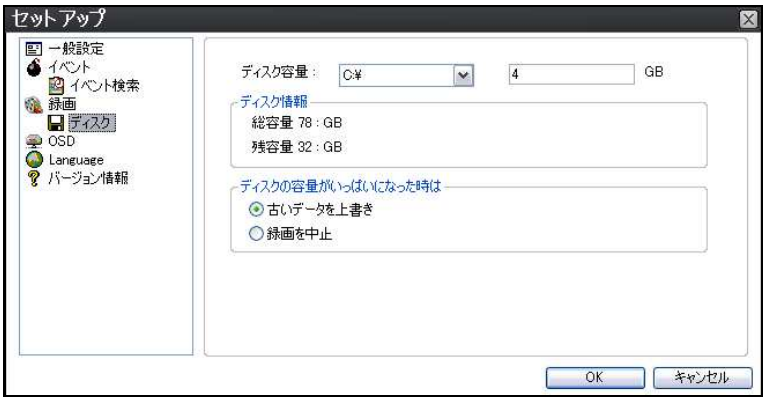


- ログの検索 ： イベントの発生記録を検索したい日時範囲を指定し、「検索」ボタンをクリックすると、指定範囲内に発生したイベントのリストが表示されます。保存記録の最初から検索したい場合は「先頭」に、保存記録の最後まで検索したい場合は「最終」にチェックを入れてください。
- ログの保存 ： 検索してログがリストで表示されている状態で「保存」ボタンをクリックすると、ログリストをTXT形式で保存することができます。

録画

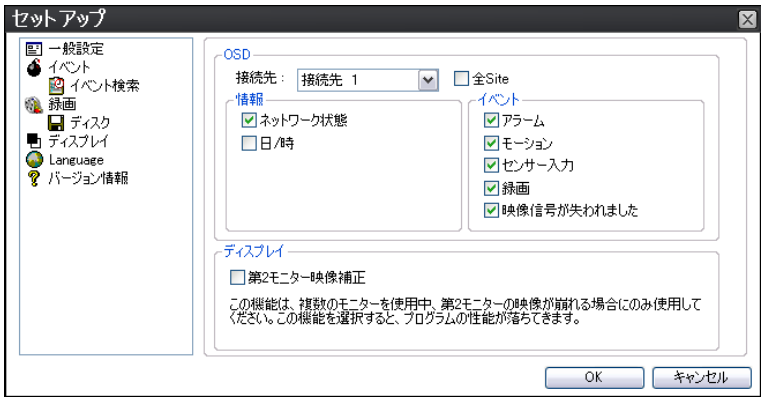
- 録画条件 ： UMSマルチクライアントのライブ画面で、「録画ON」ボタンをクリックしてライブ映像をパソコンのハードディスクに保存する時、常時録画を行うか、イベントが発生した時にだけ録画するかを選択します。
「自動録画」にチェックを入れると、「録画ON」ボタンをクリックしなくても、UMSマルチクライアントの起動時から自動的に録画を開始します。
- イベント ： 「録画条件」を「イベント」に設定した場合、録画を開始するイベント条件を設定します。イベント条件は、モーションかアラーム、あるいは両方選択可能です。
設定したイベント発生時、「持続時間」に記入した時間だけ録画を行います。
- チャンネル ： 「録画ON」ボタンをクリックした時、パソコンのハードディスクにライブ映像を保存する接続先やチャンネルを設定します。

ディスク



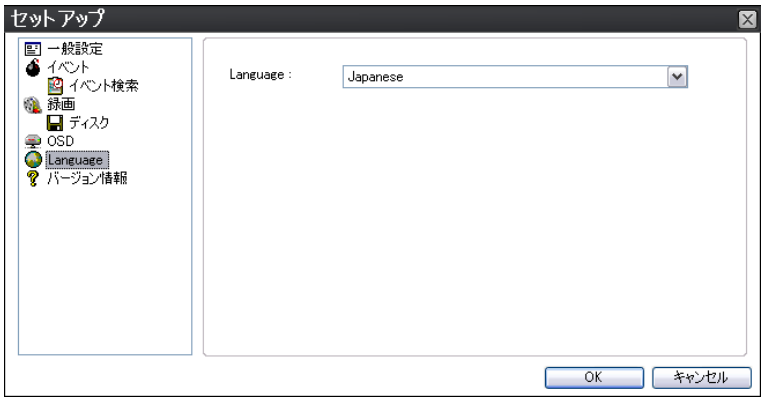
- ディスク容量 ： UMSマルチクライアントのライブ画面で、「録画ON」ボタンをクリックしてライブ映像をパソコンのハードディスクに保存する時、データを保存するパソコンのドライブや、データサイズの上限容量を指定します。
- ディスク情報 ： UMSマルチクライアントがインストールされているパソコンのハードディスクの情報を表示します。
- 上書き ： パソコンのディスクの容量がいっぱいになった時、古いデータを上書きするか、録画を中止するかを選択します。

ディスプレイ



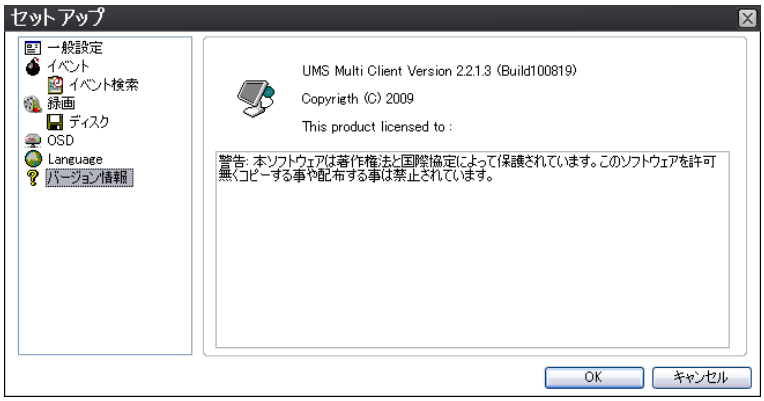
- 接続先 ： OSD表示を設定する接続先を選択します。
- 情報 ： 画像表示部の下部に、フレームレートやビットレートなどのネットワーク状態を表示するか、日時情報を表示するかを選択します。
- イベント ： DVRで発生したイベントの中で、UMSクライアントのライブ画面に表示したいイベントを選択します。複数選択できます。
- 第2モニター映像補正 ： 複数のモニターを使用するPCで、セカンダリーモニターのUMS映像に乱れが発生すると、このチェックボックスにチェックを入れます。

言語



- UMSクライアントで表示する言語を選択します。使用する言語を変更すると、一度プログラムを終了し、再度立ち上げた時点から適用されます。

バージョン情報



- 使用中のUMSクライアントのバージョンが確認できます。

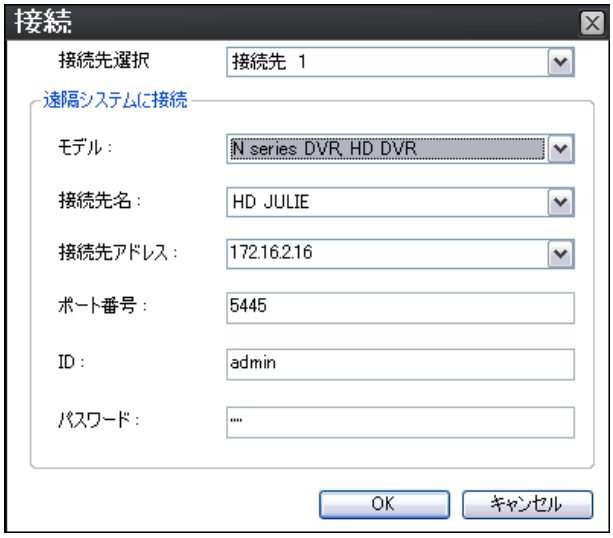
8.4.5 ポップアップメニュー

ライブ画面で、画像の上にカーソルを位置させ、マウスの右ボタンをクリックすると、ポップアップメニューが表示されます。

接続・切断

接続先に接続するか、接続を切断します。

① ポップアップメニューから「接続」をクリックすると、接続画面が表示されます。



② 「接続先選択」から、16ヶ所の中でどのフレームに接続先を表示させるかを選択します。

③ 選択したフレームの中に表示させる接続先を選択します。

- モデル ： 接続するDVRのモデルタイプを選択します。
- 接続先名 ： ドロップダウンボタンをクリックすると、現在登録されている接続先の名前のリストが表示されます。
- 接続先アドレス ： ドロップダウンボタンをクリックすると、現在登録されている接続先のアドレスのリストが表示されます。
- ポート番号 ： 選択した接続先のポート番号を入力します。
- ID ： 接続するユーザータイプを入力します。(admin、user1、user2、user3)
- パスワード ： 選択した接続先のパスワードを入力します。

④ 「OK」をクリックすると、選択した接続先の映像が選択した位置に表示されます。

⑤ 切断する時は、接続中の接続先の画像の上でマウスを右クリックし、ポップアップメニューから「切断」をクリックします。

フルスクリーン

ポップアップメニューから「フルスクリーン」をクリックすると、画像表示部だけがモニターいっぱいに表示されます。

フルスクリーンを解除したい場合は、ポップアップメニューから 「フルスクリーン」を再度クリックし、チェックをはずしてください。

セットアップ

操作パネルの ボタンをクリックした場合と同様、セットアップ画面が表示されます。

設定方法は、「8.4.4. セットアップのしかた」をご参照ください。

Iフレームのみ伝送

PCの仕様が低い場合、PCの性能が低下することを防ぐため、画面に表示するフレームをiフレームのみに制限します。

ロック

UMSマルチクライアントのすべての操作機能をロックします。

① ポップアップメニューから「ロック」をクリックすると、パスワード画面が表示されます。

② 文字や数字を利用した4～8桁のパスワードを入力します。
このパスワードは臨時のもので、「セットアップ」の「一般設定」で設定したパスワードとは関係ありません。

③ ポップアップメニュー以外、マウスの左ボタンのクリックでは、UMSマルチクライアントのどの機能も反応しなくなります。

④ ロックを解除する時は、ポップアップメニューから「ロック解除」をクリックし、ロック設定時に入力した臨時のパスワードを入力します。

接続先情報

画面表示部や、接続先リストに表示されている接続先の情報を表示します。

8.5 Webクライアントの使用

DVRがネットワークに接続されていると、Internet Explorerのブラウザで映像を監視・再生することができます。

8.5.1 IEからの接続

① パソコンのWebブラウザ(Internet Explorer)を起動します。

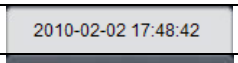
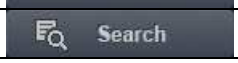
② ブラウザのアドレスバーにDVRのIPアドレスを入力し、Enterキーを押します。

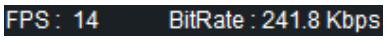
入力例:

③ WebブラウザにWeb Viewerの画面が表示されます。

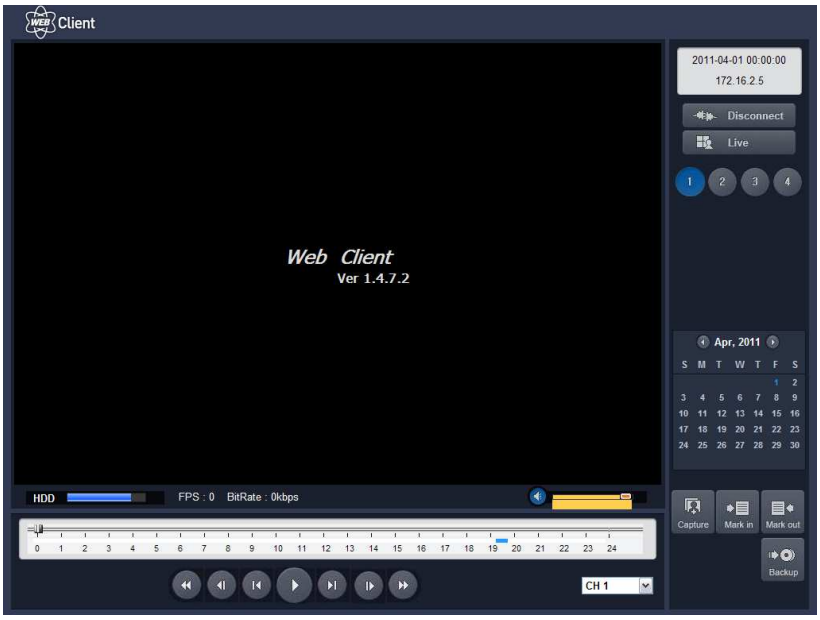
8.5.2 ライブモードの構成と各部のはたらき

メイン画面のコントロールボタン

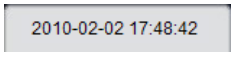
ボタン	名前	説明
	画面表示部	DVRに接続されているカメラのライブ映像を表示します。 各チャンネルをマウスでドラッグ &ドロップすることで、チャンネルの位置を変更することができます。 1画面表示状態では、マウスのホイールを利用してデジタルズームができるようになります。
	**日時情報**	現在の日時を表示します。
	接続/切断	ネットワーク状態を接続/切断にします。
	**検索**	ライブモードを検索モードに切り換えます。
	チャンネル表示	選択チャンネルを1画面で表示するか、マルチ画面で表示します。
	パン/チルト **ズーム/フォーカス**	PTZカメラのパン/チルト/ズーム/フォーカスを調節します。 中央のボタンをクリックするごとにパン/チルト↔ズーム/フォーカスモードに切換わります。
	スキャン	PTZカメラのスキャン動作を行います。
	ツアー	PTZカメラのツアー動作を行います。
	カメラOSD	カメラのOSDメニューをUMSの映像表示部に表示します。
	キャプチャー	ライブ画像を静止画で保存します。 このボタンをクリックすると、キャプチャーファイルの保

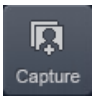
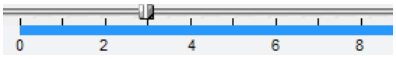
		存先の指定画面が表示されます。
	再生/停止	ライブ画像を再生/一時停止させます。
	プリセット	PTZカメラのプリセットの設定を行います。
	セットアップ	遠隔設定画面を表示します。
	HDD容量	DVRのHDDの使用容量を表示します。
	**ネットワーク状況**	ネットワークの伝送フレーム数や帯域幅を表示します。
	ボリューム	出力音量を調整します。 スピーカーのアイコンをクリックするとこで音声出力を入/切にすることもできます。
	ログウィンドウ	操作履歴を表示します。

8.5.3 検索モードの構成と各部のはたらき



検索画面のコントロールボタン

ボタン	名前	説明
	画面表示部	DVRのハードディスクに保存されているデータの再生映像を表示します。 各チャンネルをマウスでドラッグ＆ドロップすることで、チャンネルの位置を変更することができます。 1画面表示状態では、マウスのホイールを利用してデジタルズームができるようになります。
	**日時情報**	再生中の映像の録画日時を表示します。
	接続/切断	ネットワーク状態を接続/切断にします。

	検索	検索モードをライブモードに切り換えます。
	チャンネル表示	表示するチャンネルを選択します。
	カレンダー	再生したい映像の日付を選択します。 録画データのある日付は水色に表示されます。
	**キャプチャー**	再生画像を静止画で保存します。 このボタンをクリックするとキャプチャー画面が表示され、再生画面をbmpかjpg形式の静止画で保存することができます。キャプチャーファイルの保存先はC:¥Storage¥Captureがデフォルトに設定されています。
	開始点	再生映像からバックアップしたい区間の開始点を指定します。
	終了点	再生映像からバックアップしたい区間の終了点を指定します。
	バックアップ	DVRかパソコンのハードディスクに保存されている録画映像をAVI形式でバックアップします。
	**タイムラインバー**	24時間か60分を表示するタイムラインです。データのある区間は水色のラインで表示されます。スライドノブをドラック&ドロップすることで再生したい時刻に移動できます。
	再生/一時停止	録画映像を再生/一時停止します。 タイムラインの上で再生したい時刻を選択し、このボタンをクリックすると再生がはじまります。
	1フレームずつ再生	録画映像の一時停止状態からクリックするごとに1フレームずつ再生されます。
	1分ずつ再生	クリックするごとに1分先/前の映像にスキップされます。
	早戻し/早送り	再生中の映像を早戻し/早送りします。
	時間単位表示/分単位表示	クリックするごとにタイムラインが選択した日の24時間の表示/選択した時間の60分間の表示に切り換わります。

8.6 モバイルでのライブ画面監視

iPhone、Android対応のスマートフォンで、DVRのライブ画面を見ることができます。

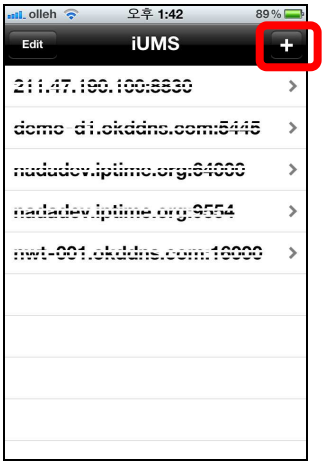
8.6.1 iPhoneからの接続

① iPhoneのApp Storeから「iUMS」を検索し、ダウンロードします。

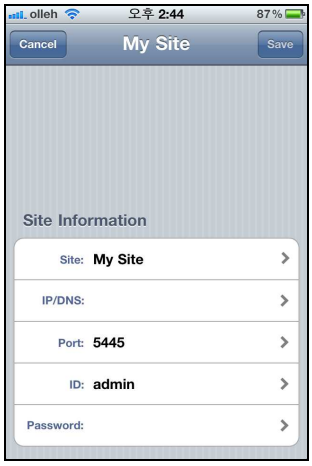
② iUMSをiPhoneから立ち上げます。

③ 接続先リスト画面の右上の を押して、接続先情報を登録します。

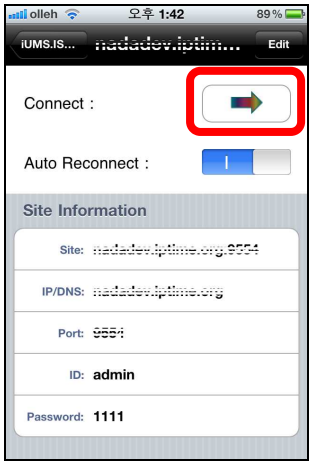
④ 接続先リストから接続先を選択し、 を押すとライブ画面が見られます。



[接続先登録画面へ移動]



[接続先情報の登録]



[接続先のライブ映像を表示]

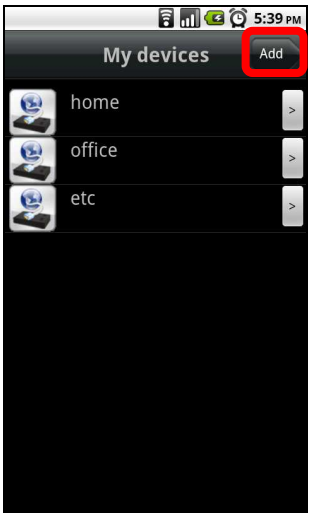
8.6.2 Androidからの接続

① AndroidのMarketから「iUMS」を検索し、ダウンロードします。

② iUMSをAndroidから立ち上げます。

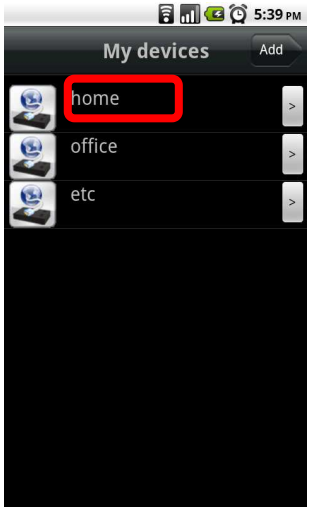
③ 接続先リスト画面の右上の を押して、接続先情報を登録します。

④ 接続先リストから接続先名を押すとその接続先のライブ画面が見られます。



[接続先登録画面へ移動]

[接続先情報の登録]



[接続先のライブ映像を表示]

9. 録画時間目安表

解像度	録画画質	DVR-NS104HE 1TB 録画フレーム数						
		480f/s	240f/s	120f/s	96f/s	64f/s	32f/s	16f/s
960×480	最高	—	—	約 8 日	約 10 日	約 12 日	約 15 日	約 24 日
	高	—	—	約 9 日	約 12 日	約 14 日	約 19 日	約 30 日
	中	—	—	約 13 日	約 16 日	約 19 日	約 25 日	約 40 日
	標準	—	—	約 15 日	約 19 日	約 23 日	約 30 日	約 48 日
	ネットワーク	—	—	約 19 日	約 23 日	約 28 日	約 37 日	約 59 日
720×480	最高	—	—	約 8 日	約 10 日	約 12 日	約 15 日	約 24 日
	高	—	—	約 9 日	約 12 日	約 14 日	約 19 日	約 30 日
	中	—	—	約 13 日	約 16 日	約 19 日	約 25 日	約 40 日
	標準	—	—	約 15 日	約 19 日	約 23 日	約 30 日	約 48 日
	ネットワーク	—	—	約 19 日	約 23 日	約 28 日	約 37 日	約 59 日
360×240	最高	—	—	約 29 日	約 36 日	約 44 日	約 58 日	約 91 日
	高	—	—	約 36 日	約 44 日	約 54 日	約 71 日	約 112 日
	中	—	—	約 46 日	約 57 日	約 69 日	約 91 日	約 144 日
	標準	—	—	約 53 日	約 67 日	約 81 日	約 106 日	約 168 日
	ネットワーク	—	—	約 64 日	約 80 日	約 97 日	約 128 日	約 201 日

解像度	録画画質	DVR-NS108HE 1TB 録画フレーム数						
		480f/s	240f/s	120f/s	96f/s	64f/s	32f/s	16f/s
960×480	最高	—	—	約 6 日	約 7 日	約 8 日	約 12 日	約 18 日
	高	—	—	約 7 日	約 8 日	約 9 日	約 15 日	約 22 日
	中	—	—	約 10 日	約 11 日	約 13 日	約 20 日	約 29 日
	標準	—	—	約 12 日	約 13 日	約 15 日	約 24 日	約 35 日
	ネットワーク	—	—	約 15 日	約 16 日	約 19 日	約 30 日	約 44 日
720×480	最高	—	—	約 6 日	約 7 日	約 8 日	約 12 日	約 18 日
	高	—	—	約 7 日	約 8 日	約 9 日	約 15 日	約 22 日
	中	—	—	約 10 日	約 11 日	約 13 日	約 20 日	約 29 日
	標準	—	—	約 12 日	約 13 日	約 15 日	約 24 日	約 35 日
	ネットワーク	—	—	約 15 日	約 16 日	約 19 日	約 30 日	約 44 日
360×240	最高	—	約 15 日	約 23 日	約 25 日	約 30 日	約 47 日	約 69 日
	高	—	約 18 日	約 29 日	約 31 日	約 37 日	約 59 日	約 85 日
	中	—	約 24 日	約 38 日	約 41 日	約 49 日	約 77 日	約 112 日
	標準	—	約 29 日	約 44 日	約 48 日	約 57 日	約 90 日	約 132 日
	ネットワーク	—	約 35 日	約 54 日	約 59 日	約 70 日	約 111 日	約 161 日

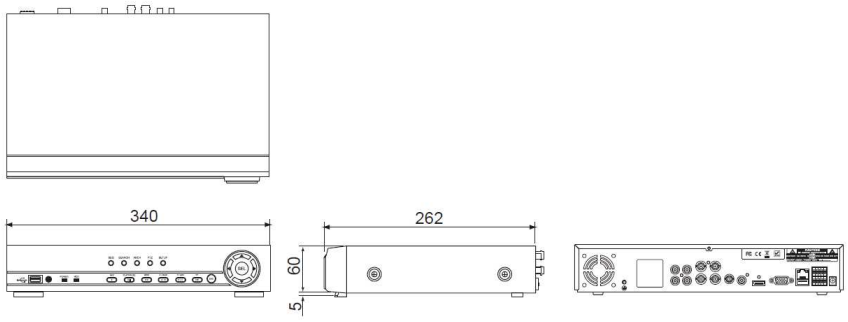
解像度	録画画質	DVR-NS116HE 1TB 録画フレーム数						
		480f/s	240f/s	110f/s	96f/s	64f/s	32f/s	16f/s
960×480	最高	—	—	約 3 日	約 4 日	約 6 日	約 9 日	約 11 日
	高	—	—	約 4 日	約 5 日	約 7 日	約 11 日	約 14 日
	中	—	—	約 6 日	約 7 日	約 10 日	約 14 日	約 19 日
	標準	—	—	約 7 日	約 8 日	約 12 日	約 17 日	約 23 日
	ネットワーク	—	—	約 9 日	約 10 日	約 15 日	約 22 日	約 28 日
720×480	最高	—	—	約 3 日	約 4 日	約 6 日	約 9 日	約 11 日
	高	—	—	約 4 日	約 5 日	約 7 日	約 11 日	約 14 日
	中	—	—	約 6 日	約 7 日	約 10 日	約 14 日	約 19 日
	標準	—	—	約 7 日	約 8 日	約 12 日	約 17 日	約 23 日
	ネットワーク	—	—	約 9 日	約 10 日	約 15 日	約 22 日	約 28 日
360×240	最高	約 7 日	約 12 日	約 16 日	約 17 日	約 24 日	約 35 日	約 45 日
	高	約 9 日	約 14 日	約 20 日	約 21 日	約 30 日	約 43 日	約 56 日
	中	約 12 日	約 19 日	約 27 日	約 28 日	約 39 日	約 57 日	約 74 日
	標準	約 15 日	約 23 日	約 32 日	約 33 日	約 47 日	約 68 日	約 88 日
	ネットワーク	約 18 日	約 28 日	約 40 日	約 41 日	約 58 日	約 84 日	約 109 日

10. バックアップ時間目安表

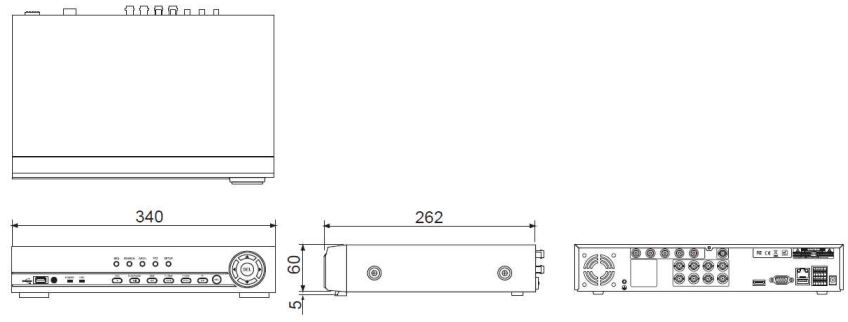
モデル名	解像度 (Pixel)	録画フレーム合計 (fps)	画質	ファイル形式	録画データ (時間)	バックアップ時間 (分)	ファイルサイズ (GB)
DVR-NS104HES	960x480	120	最高	H.264	24	480	64.0
	960x480	120	最高	AVI	1	30	3.5
DVR-NS108HES	960x480	120	最高	H.264	24	600	96.0
	960x480	120	最高	AVI	1	36	5.0
DVR-NS108HES	960x480	110	最高	H.264	24	720	146.0
	960x480	110	最高	AVI	1	45	6.6

11. 外形図

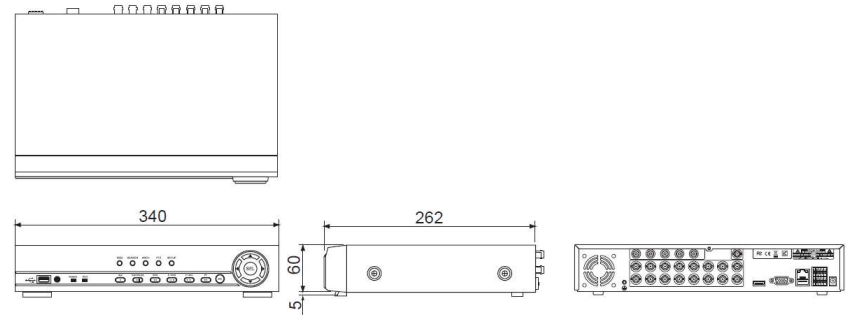
DVR-NS104HES



DVR-NS108HES



DVR-NS116HES



12. 保証書

購入日	年　月　日	
モデル	DVR-NS104HES/NS108HES /NS116HES	
お客様	ご住所 お名前 電話	
販売店	店名・住所	

保　証　書

1：保証期間はお買い上げ月日より 2 年です。

2：修理はお買い上げの販売店へ保証書を添えてお出し下さい。尚、本保証書の提示がない場合及び下記の場合の修理は有料となります。

- 使用方法の誤り、または乱用による故障。
- 不当な修理、改造、分解掃除等による故障。
- 天災（落雷、火災）による故障及び損傷。

3：本製品は盗難防止器具、火災防止器具ではありません。本製品の正常・異常にかかわらず犯罪や事故が発生した場合の損害については当社は一切責任を負いません。

4：本器の故障のために生じた 2 次的な事故は、保証いたし兼ねます。

5：本製品の設置 (取り付け・取りはずし) などにより生じた建物等への損傷やその他の損害について当社は、一切責任を負いません。

株式会社 タイワ インタストリ
■本社サービス 東京都大田区池上3-36-6
〒146-0082 TEL:03-3755-5645(代)　FAX :03-3755-2253